



もっと日本を。もっと世界へ。



令和 3 (2021)年度

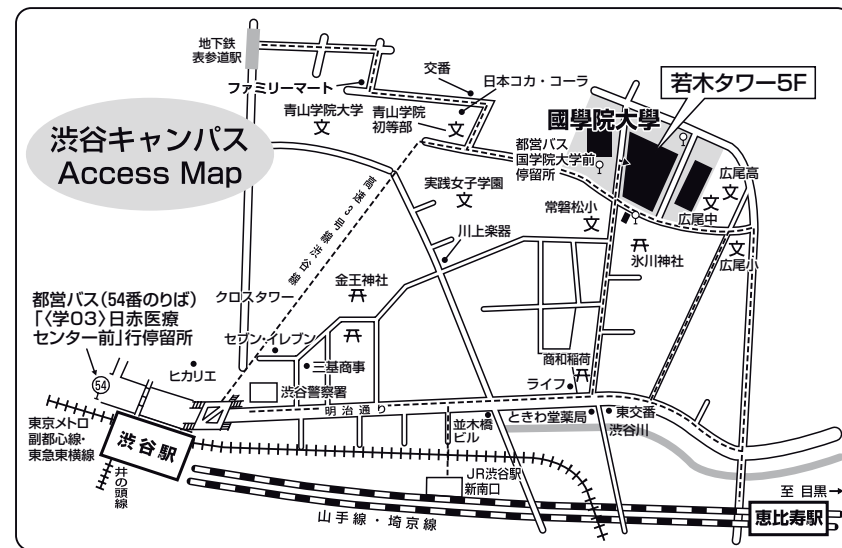
秋季・春季

大学院学生募集要項

博士前期課程
博士後期課程

文学研究科
法学研究科
経済学研究科

國學院大學大学院



〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學 大学院事務課

電話 03(5466)0142(直通)

daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/graduate/>



新型コロナウイルス感染拡大の情勢により、やむを得ず入学試験日程・出願要件・試験内容等を変更する場合があります。
最新の情報は、大学ホームページにてお知らせしますので、必ず出願前にご確認ください。

目 次

1. 本大学院の目的	1
2. 入学定員と収容定員	1
3. 本大学院のポリシー	2
4. 入学試験日程	5
出願	
試験日	
合格発表	
手続期間	
5. 博士前期課程 出願資格・選考方法	7
①文学研究科	
②法学研究科	
③経済学研究科	
6. 博士後期課程 出願資格・選考方法	15
①文学研究科	
②法学研究科	
③経済学研究科	
7. 各入試共通事項	17
博士前期課程出願書類一覧	17
博士後期課程出願書類一覧	18
入試コード一覧	19
出願・受験上の注意	20
入学検定料と納入方法	20
入学手続	21
学位授与までの流れ	22
学部3年生の法学研究科入試合格後の選択肢	22
学費等納付金	23
奨学金制度	23
入学辞退による学費等の返還	23
大学院入学試験実施状況	24
8. 授業科目と担当教員	26
前期課程	26
後期課程	40
9. 出願書類	
所定用紙①～⑩	

個人情報の取扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。出願（含入学資格審査）の際に提出された個人情報は、選考手続に使用します。また、入学手続書類と共に、合格後の授業・学生生活において必要な連絡やデータ作成・資料送付、学生生活全般に関わる指導・助言、学生証発行のために使用します。なお、修了・（所定単位修得）退学後も必要な連絡のために使用することがあります。（この利用目的の範囲を超えて使用すること、本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。）

*書類保有期間…合格者：5年 不合格者：1年

1. 本大学院の目的

本大学院は神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。

沿 革

(修)は修士課程、(博)は博士課程の略

昭和26年(1951年)	文学研究科	神道学専攻(修)・日本文学専攻(修)
昭和27年(1952年)	文学研究科	日本史学専攻(修)
昭和28年(1953年)	文学研究科	日本文学専攻(博)・日本史学専攻(博)
昭和33年(1958年)	文学研究科	神道学専攻(博)
昭和42年(1967年)	法学研究科	法律学専攻(修)
昭和44年(1969年)	法学研究科	法律学専攻(博)
昭和43年(1968年)	経済学研究科	経済学専攻(修)
昭和45年(1970年)	経済学研究科	経済学専攻(博)
昭和50年(1975年)	各研究科(専攻)とも	修士課程を博士前期課程に、 博士課程を博士後期課程にそれぞれ改称
平成18年(2006年)	文学研究科	日本史学専攻を史学専攻に名称変更
平成19年(2007年)	文学研究科	日本文学専攻を文学専攻に名称変更
平成20年(2008年)	文学研究科	神道学専攻を神道学・宗教学専攻に名称変更

2. 入学定員と収容定員

研究科名	専攻名	前期課程		後期課程		合計 総収容 定員
		修業年限2年		修業年限3年		
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文学 研究科	神道学・宗教学専攻	20	40	4	12	52
	文学専攻	30	60	10	30	90
	史学専攻	40	80	10	30	110
	計	90	180	24	72	252
法学 研究科	法律学専攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
経済学 研究科	経済学専攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
合	計	110	220	34	102	322

3. 本大学院のポリシー

○國學院大學大学院—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・國學院大學大学院の教育研究上の目的

本大学院は、法令の遵守・人権の保護を徹底して研究倫理を確立し、教学を通じて人格の陶冶に努める。それを基盤として、神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。

・國學院大學大学院の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得し、専門的知識を自らのものとするとともに、主体的に研究課題を定め、これに関する諸研究の検討を行い、新たな知見を加えた修士論文あるいは特定の課題についての研究成果を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得するとともに、その分野の研究動向を理解した上で、独自の見解を含む博士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、その分野で継続的な研究が行い得ると認定された者に、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

大学院の設置目的を実現するために文学、法学、経済学の3研究科を置き、大学院学生が、学知を主体的に選択して、自己の研究に取り組む能力を涵養し、研究指導・方法の多様性と、自己の意志に基づく自由な選択を保障することを方針として教育課程を編成する。この方針に基づいて、全研究科を通じて開講科目を全セメスター化とし、博士前期課程と博士後期課程とを一貫させた教育課程として設ける。また、各研究科ごとに演習、論文指導演習、研究指導、専門講義科目あるいはコースワーク科目、アカデミック・ライティングなどを設置するとともに、複数の教員による指導制を確立する。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

大学院ならびに各研究科設置の目的と合致する、積極的な目的意識や志向性を有するとともに、研究科での学修ならびに研究に必要な基礎的な知識や能力などを備えていることを受入れ方針としている。また、学士課程（学部）修了者を対象とする一般入学に加え、学士課程（学部）において優秀な成績を収めている者の大学院への飛び入学や推薦入学、さまざまな経験や有する社会人や外国人を対象とする入学選抜など、多様な入学制度を設けることで、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大をはかることを方針としている。

○文学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・文学研究科の教育研究上の目的

文学研究科は、日本文化の真髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与することができる、優れた研究者及び専門的な業務に従事する者を養成することを目的とする。

神道学・宗教学専攻

日本古来の伝統宗教である神道を中心とする日本の伝統文化に関して、歴史的思想神学的な理解を深め、内外の諸宗教及びそれに関連する宗教文化の意義と役割を比較研究し、幅広い人材を養成すること。

文学専攻

文化・文学・言語に関する高度な研究の深化・発展を図り、その能力を有する研究者、及び豊かな学識と高度な教育能力をもつ教育者を養成し、専門的業務に従事する社会人を再教育すること。

史学専攻

国内外の歴史学・考古学・地理学・博物館学及び美学美術史の幅広い分野に関し研究の深化・発展を図り、各種研究教育機関で研究教育に携わる優れた人材を育成すること、併せて社会人を積極的に受け入れ、幅広い人材を養成すること。

・文学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻において編成されている教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す学位を授与する。

また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。

神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、修士（神道学）または修士（宗教学）の学位をそれぞれ授与する。

博士後期課程においては、神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、博士（神道学）または博士（宗教学）の学位をそれぞれ授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、博士（神道学）または博士（宗教学）の学位を授与する。

文学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、日本文学、

日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては修士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、修士（文学）または修士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

博士後期課程においては、文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、博士（文学）または博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を、伝承文学コースにおいては、博士（文学）または博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

史学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、修士（歴史学）の学位を授与する。

博士後期課程においては、史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、博士（歴史学）の学位を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、博士（歴史学）の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻内に専門分野に基づいたコースを設けることによって、学生の研究に資することを方針としている。

神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

文学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、日本文学（高度国語教育含む）、日本語学、伝承文学、中国文学、日本語教育の各コースにおいて、横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、各コースごとに複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、各コースごとに複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

史学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学研究科の設置目的である「日本文化の神髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与」したいという目的意識や志向性を有する者を対象とする。

神道学・宗教学専攻

神道学・宗教学専攻においては、その資質として、神道文化をはじめ国内外の宗教文化に関する幅広い知識と具体的な研究課題をもち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士課程前期においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

文学専攻

文学専攻においては、その資質として、日本文学、日本語学、中国文学、伝承文学、高度国語・日本語教育の各コースに関する幅広い知識と具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人留学生を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

史学専攻

史学専攻においては、日本史学および歴史地理学・外国史学・考古学・博物館学・美学美術史の各コースに関する幅

広い知識と高い研究意欲ならびに具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要となる問題発見能力、知識、技能などを備えている入学者を受け入れる。

博士前期課程では、学部教育において幅広い教養と基礎的な専門教育を修得し、さらなる専門的研究をおこなう意欲と知識・技能を備えた入学者を受け入れる。

博士後期課程においては、すぐれた研究論文を提出して修士学位を修得し、専門領域において独自の研究計画に基づく研究を継続する意欲とそれを遂行するに足る能力と技能を備え、所定の修業年内に博士論文を提出して博士学位を得ようとする目的を持った入学者を受け入れる。また、それと同等の学力と強い研究意欲をもち、博士学位授与に相応しい研究業績を有する者を受け入れる。

○法学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・法学研究科の教育研究上の目的

法学研究科は、学部教育を基礎とし、法学及び政治学に関する、専門的分析能力を用いて先端的問題を総合的に分析・判断し社会的諸問題の解決に貢献する者、及び専攻分野に関し独創的研究を行い指導する能力をもつ研究者を養うことを目的とする。

・法学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を踏まえ、法学または政治学についての高度な専門知識を十分に自らのものとし、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を示す成果をあげた者に対し、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で修得した高度な専門知識と主体的で独自の姿勢に加えて、自らの研究成果を纏めるための研究計画を立案し、着実に実行することができ、かつ、実行のために必要とされる資料収集、読解能力、語学力及び情報処理技術などを身につけ、今後、専攻分野において独創的研究を継続的にを行い、後進を指導する能力を身につけたことを示す成果をあげた者に対し、博士の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、学生が専門知識を修得し、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。加えて、関連諸領域における法的・政治的な諸問題についても専門知識を修得できるように、指導教員以外が担当する授業科目を開設する。

博士後期課程においては、学生が専攻分野に関するより高度な専門知識を修得し、より独創的かつ自立的な研究活動に必要とされる高度な専門的技術を含めた研究能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。

なお、新たに生起する問題や先進的な研究動向に応じた学修の機会を確保するために、特殊研究（演習）を開設する。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育に基づいて、価値観と利害関係が多様化する現代社会に生起する諸問題を法学または政治学の観点から総合的に分析・判断し、それらの解決に主体的に関わりとうとする積極的な姿勢を持つ者を受け入れる。とりわけ、社会人としての経験を踏まえて具体的な研究課題を見いだしている者を受け入れる。

博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、加えて専門領域においてさらなる独自の研究計画に基づき継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

○経済学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

・経済学研究科の教育研究上の目的

経済学研究科は、学部教育を基礎とし、経済及び経済学に関する、専門的知識と能力をもつ職業人、及び豊かな学識と創造的な研究能力をもつ研究者を育成することを目的とする。

・経済学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見を踏まえ、経済学、経営学、会計学または税務に関わる専門分野について十分な学力があると認定された者に対して、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で求められた最先端の専門的知識に加えて、理論的革新や新しい知見の発見などの独創的研究を行い、今後、専攻分野において研究・教育する能力を身につけたことを示すことができる成果をあげた者に対して、博士の学位を授与する。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、指導教員が担当する授業科目および論文指導を通じて、自己の専門領域における専門的知識を学ぶことと並行し、自己の専門領域の関連諸領域について授業科目の履修を通して学ぶこと。さらにアカデミック・コース、キャリア・コースの各コースを選択した者は、当該コースの選択必修科目から所定の単位数の科目を修得すること。

博士後期課程においては、指導教員が担当・指定する授業科目を修得するとともに、指導教員のもとで研究指導を受けること。

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程、博士後期課程ともに、本学の建学の精神、そして本研究科が定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解して、以下の資質・志向をもった者を受け入れる。

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見に基づいて、以下いずれかの志向を持った者を受け入れる。

(1) アカデミック・コースでは、博士後期課程への進学を目指す者や、博士前期課程修了後に専門的で深い学識を必要とする職種を目指す者。

(2) キャリア・コースでは、博士前期課程を修了し、税理士などの資格取得を目指す者。

博士後期課程においては、博士前期課程における経済と経済学に関する専門的知見に基づいて、博士の学位を取得し、課程修了後は研究職を目指す者。

4. 入学試験日程

感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。

また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。

ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。

秋季試験

研究科	入試制度	専攻	募集人員	願書受付期間	試験日	合否発送	手続期間			
文学	前期	一般	神道学・宗教学	10名	令和2年 8月28日(金) 9月17日(木)	10月3日(土)	10月7日(水)	〈一次手続〉 令和2年 10月13日(火) 10月19日(月)		
			文学	15名						
			史学	20名						
		外国人	神道学・宗教学	若干名						
			文学	若干名						
			史学	若干名						
	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名							
		文学	若干名							
		史学	若干名							
	後期	社会人	神道学・宗教学	若干名		10月7日(水)	10月10日(土)		10月10日(土)	〈二次手続〉 令和3年 2月25日(木) 3月3日(水)
			文学	若干名						
			史学	若干名						
一般		神道学・宗教学	若干名							
		文学	若干名							
		史学	若干名							
外国人	神道学・宗教学	若干名								
	文学	若干名								
	史学	若干名								
社会人	神道学・宗教学	若干名								
	文学	若干名								
	史学	若干名								
法学	前期	一般	5名	令和2年 8月28日(金) 9月10日(木)	9月26日(土)	9月30日(水)	〈一次手続〉 令和2年 10月3日(土) 10月9日(金)			
		外国人	若干名							
		学内論文選考*	若干名							
		学内成績選考*	若干名							
社会学	前期	一般	5名	令和2年 8月28日(金) 9月10日(木)	9月26日(土)	9月30日(水)	〈二次手続〉 令和3年 2月25日(木) 3月3日(水)			
		外国人	若干名							
		学内推薦	若干名							
		社会人	若干名							

* 法学研究科の学内論文選考および学内成績選考の秋季試験は、学部4年次在学者に限る。

出願受付場所 ■ 國學院大學大学院事務課（渋谷キャンパス）。

出願受付時間 ■ 9：00～12：40、13：50～16：00（土曜・祝祭・休日を除く）。

郵送の場合「速達簡易書留」または、「レターパックプラス（赤）」とし、願書受付各締切日の前日までの消印有効。

合 否 発 送 ■ 郵送にて発送します。

掲示・WEBでの発表は行いません。電話・電子メール等による問い合わせには応じられません。

入学手続受付時間 ■ 9：00～12：40、13：50～16：00（祝祭・休日を除く）。原則として郵送不可。

春季試験

研究科	入試制度	専攻	募集人員	願書受付期間	試験日	合否発送	手続期間		
文学部	前期	一般	神道学・宗教学	7名	令和3年 1月12日(火)) 1月19日(火)	2月13日(土)	2月17日(水)	令和3年 2月25日(木)) 3月3日(水)	
			文学	9名					
			史学	9名					
		外国人	神道学・宗教学	若干名					
			文学	若干名					
			史学	若干名					
	後期	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名					
			文学	若干名					
			史学	若干名					
		学外成績選考	文学	若干名					
			社会人	神道学・宗教学		若干名			
				文学		若干名			
史学	若干名								
法学部	前期	法律学	一般	5名	令和3年 1月18日(月)) 1月25日(月)	2月20日(土) 2月23日(火)	2月24日(水)	令和3年 2月25日(木)) 3月3日(水)	
			外国人	若干名					
			学内論文選考	若干名					
			学内成績選考	若干名					
			社会人	若干名					
			後期	一般					5名
	外国人	若干名							
	経済学部	経済学		一般	5名	令和3年 1月18日(月)) 1月25日(月)	2月20日(土) 2月23日(火)	2月24日(水)	令和3年 2月25日(木)) 3月3日(水)
				外国人	若干名				
				学内推薦	若干名				
				社会人	若干名				
			後期	一般	5名				
外国人				若干名					
社会人	若干名								

出願受付場所 ■ 國學院大學大学院事務課（渋谷キャンパス）。

出願受付時間 ■ 9：00～12：40、13：50～16：00（祝祭・休日を除く）。郵送の場合「速達簡易書留」または、「レターパックプラス（赤）」とし、願書受付各締切日の前日までの消印有効。

合 否 発 送 ■ 郵送にて発送します。掲示・WEBでの発表は行いません。電話・電子メール等による問い合わせにも応じません。

入学手続受付時間 ■ 9：00～12：40、13：50～16：00（祝祭・休日を除く）。原則として郵送不可。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願開始日の30日前までに、必ず大学院事務課（03-5466-0142）に連絡してください。

5. 博士前期課程

出願資格

以下の(1)～(6)のいずれかの要件を満たす者

- (1) 学士の学位を有する者、または見込者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院が、大学に3年以上在学し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
※なお、学部3年次在学者が合格し大学院に飛び入学する場合、学部は退学となります。
- (5) 次に掲げる各号に該当する22歳に達した者で、本大学院が個別の入学資格審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - イ 高等専門学校・短期大学の卒業生
 - ロ 専修学校・各種学校の卒業生
 - ハ 外国大学日本分校、外国人学校の卒業生
- (6) その他、本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

入学資格審査：上記(5)(6)における個別の入学資格審査は、以下の要領で実施する。

※令和3年度入学資格審査は新型コロナウイルス感染拡大状況により、予告なく取消することがある。

	書類提出期間	実施日
秋季	令和2(2020)年7月3日(金)～7月10日(金)	令和2(2020)年7月22日(水)
春季	令和2(2020)年12月5日(土)～12月18日(金)	令和3(2021)年1月9日(土)

◆出願受付時間：9：00～12：40、13：50～16：00（祝祭・休日を除く）

〔審査料及び出願書類〕

- ①審査料：10,000円 証明書自動発行機（渋谷キャンパス若木タワー1・2階）で証紙を購入して下さい。
 - ②入学資格審査調査書（本学所定用紙⑩）※ダウンロード可
 - ③卒業証明書（出身大学学部のもの）コピー不可
 - ④成績証明書（出身大学学部のもの）コピー不可
 - ⑤日本留学試験（2018年6月～2020年11月）の日本語の成績または、日本語能力試験（2017年12月～2020年7月）の成績書コピー（外国籍の者のみ）
 - ⑥返信用封筒（宛名記載、長3サイズ）
 - ⑦パスポート及び在留カードのコピー（外国籍の者のみ）
- *③・④は、原則、出願の3か月以内に発行されたものに限る。外国語の証明書には日本語訳（形式は問わない）を添付すること。ただし、海外大学等で3か月以内の発行が難しい場合は、事前に大学院事務課へ相談すること。

〔提出先〕 國學院大學 大学院事務課窓口

経済学研究科の入学資格審査を希望する、「外国の大学を卒業し、学士の学位を有していない」者は、追加で以下2点の書類を提出すること。

- ⑧自らが出身大学に提出した卒業論文または同様の趣旨の論文(thesis)。英語または日本語以外の言語で執筆されている場合は、日本語または英語の翻訳を付すこと(全文)。オリジナルのものに加筆修正を加えてはならない。卒業論文を執筆していない場合は、卒業した大学で学んだことをまとめた論文を作成し提出すること（日本語で執筆し、A4サイズ横書きワープロ使用、図表や脚注も含めて12,000字以上とする。なお、本形式や字数は國學院大學経済学部における卒業論文に準じている）。
- ⑨自らの大学で学んだことと、國學院大學大学院経済学研究科で研究したい研究テーマとの関連性をまとめた小論文(essay)。日本語で執筆し、A4横書きワープロ使用、4,000字以上とする。
上記2点について、これから論文および小論文を作成する場合、ひょう窃をはじめとする不正な行為が発覚した場合、合格を取り消すこともあるので、重々承知の上で作成すること。

選考方法

文学研究科

文学研究科【博士前期課程】

●一般入試 「筆記試験」、「口述試験」

選考方法		筆記試験		口述試験 ※3
専攻・コース		(1限) 9:30~10:30	(2限) 11:00~13:00	15:00~
神道学・宗教学専攻		外国語 ※1	・専門科目 (必修) 神道学または宗教学 (事前選択) ・共通科目 神道学・宗教学	専攻を希望する 分野に関して行う
文学専攻	日本文学	外国語 ※1	日本文学	専攻を希望する 分野に関して行う
	日本語学		日本語学	
	中国文学		中国文学	
	伝承文学		伝承文学	
	高度国語・ 日本語教育		国語教育または日本語教育(事前選択)	

選考方法		筆記試験		口述試験 ※3
専攻・コース		(1限) 9:30~10:30	(2限) 11:00~12:30 専門科目 (必修)	15:00~
史学専攻	日本史学	外国語 ※1	日本史学または歴史地理学 (試験当日選択)	専攻を希望する 分野に関して行う
	外国史学		東洋史学または西洋史学 ※2 (事前選択)	
	考古学		考古学	
	美学美術史		美学美術史	
	博物館学		博物館学	

※1 外国語試験について

英語、中国語のうちから1科目選択 (母国語の選択は認めない)。
辞書の持ち込み可 (英和・中和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可)。

※2 西洋史学試験について

辞書の持ち込み可 (英和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可)。

※3 口述試験の実施について

全専攻において筆記試験の結果により、口述試験対象者を決定する。

●社会人入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

選考方法	出願資格	選考		
		書類審査	(1限) 10:00~11:30	(2限) 13:00~
専攻				
神道学・宗教学専攻	入学時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者 ①学士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者 ②学士の学位取得後5年以上の者	研究計画書	専門に関する 小論文	口述試験
文学専攻				
史学専攻				

●外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

選考方法		筆記試験		口述試験 ※3
専攻・コース		(1限) 9:30~10:30	(2限) 11:00~12:30 専門科目 (必修)	15:00~
史学専攻	神道学・宗教学専攻	外国語 ※1	神道学または宗教学 (事前選択)	専攻を希望する 分野に関して行う
	日本史学		日本史学または歴史地理学 (試験当日選択)	
	外国史学		東洋史学または西洋史学 ※2 (事前選択)	
	考古学		考古学	
	美学美術史 博物館学		美学美術史 博物館学	

選考方法		筆記試験		口述試験 ※3
専攻・コース		(1限) 9:30~10:30	(2限) 11:00~13:00 専門科目 (必修)	15:00~
文学専攻	日本文学	外国語 ※1	日本文学	専攻を希望する 分野に関して行う
	日本語学		日本語学	
	中国文学		中国文学	
	伝承文学		伝承文学	
	高度国語・ 日本語教育		国語教育または日本語教育 (事前選択)	

※1 外国語試験について

英語、中国語、日本語のうちから1科目選択（母国語の選択は認めない）。

英語・中国語：辞書の持ち込み可（英和・中和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可）。

日本語：辞書の持ち込み不可。

※2 西洋史学試験について

辞書の持ち込み可（英和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可）。

※3 口述試験の実施について

全専攻において筆記試験の結果により、口述試験対象者を決定する。

●学内成績選考入試 「書類審査」、「口述試験」

専攻	選考方法	対象	出願資格	選考	
				書類審査	15:00~
神道学・宗教学専攻		全学部4年生	卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが、神道文化学部は2.8以上、他学部は3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究計画書」 ・「志望理由書」 ・秋季「成績通知書」※GPA記載 ・春季「成績証明書」※GPA記載 ・「卒業論文、演習・ゼミ論文(写)」※春季：文学・史学専攻のみ 	口述試験
文学専攻	【秋季】 文学部4年生	卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文提出予定者			
	【春季】 全学部4年生	卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文または演習・ゼミ論文提出者			
史学専攻		文学部・神道文化学部4年生	卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者		

●学外成績選考入試 ※春季試験のみ 「書類審査」、「口述試験」

専攻	選抜方法	対象	出願資格	選考	
				書類審査	15:00～
文学専攻		他大学 4年生	卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文提出者 ※国内の4年制大学において、学士号取得見込者（専門学校・短大除く）	・「研究計画書」 ・「志望理由書」 ・「成績証明書」 ※GPA記載 ・「卒業論文（写）」	口述試験

※GPAが記載された成績証明書を提出すること。

※GPA値について、本学基準と異なる場合は、下記のとおり、本学基準に換算して評価する。

◆GPA値の換算について

基準点	合否	QPI
100～90	合格	4.0
89～80		3.0
79～70		2.0
69～60		1.0
59～0	不合格	0.0

※GPA値は、登録科目の単位数と成績評価ごとに定められたQPI（Quality Point Index）を用い、登録した各科目の単位数にQPIを乗じたものの合計を、登録した科目の単位数の合計で割ることで求められる。

$\text{計算式} \quad \frac{(\text{GPA対象科目のQPI} \times \text{単位数}) \text{の総和}}{\text{GPA対象科目の単位数合計}} = \text{GPA}$ <p>※卒業要件単位に含まれない科目は、GPAの算出対象外。</p>

選考方法

法学研究科

法学研究科【博士前期課程】研究コース・公務員養成コース

出願に当たっての注意事項

- ①研究コースと公務員養成コースのいずれかを選択すること。
- ②研究コース・公務員養成コース共に、別表1左欄に掲げる専門科目から自分が専攻する科目を一つ選択すること（別表1左欄に掲げていない専門科目については、募集を実施しない）。
- ③指導を希望する教員がいる場合には、別表1右欄から選び、研究計画書に記入すること（指導教員の決定に際しては、受験生の研究計画の他、指導教員の専門領域・指導の負担等を考慮するため、希望とは異なる教員が指導教員となることもある）。

飛び入学制度・3年次入試先取り履修制度について

研究コース・公務員養成コース共に、一般・学内成績選考・学内論文選考入試では、3年次在学中に合格した者が、3年次終了後卒業を経ずに直ちに大学院に入学できる「飛び入学制度」と、一年間入学を保留するとともに学部4年在学中に法学研究科の授業を履修し翌年4月に入学後に履修済み単位として認定される「3年次入試先取り履修制度」（10単位まで）を利用することができる（P.22「学部3年生の法学研究科入試合格後の選択肢」の図を参照）。

●一般入試 「筆記試験」(2科目)、「口述試験」 [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

3年次在学者の受験資格について

出願時に大学の3年次に在学している者は、2年次終了までに76単位以上を修得していること。

筆 記 試 験	口述試験※2
9:30~11:30	13:00~
①希望する専攻分野の専門科目(必須) ②外国語または専門科目(選択)のいずれかを選択 [外国語] 英語・独語・仏語のうち1科目(ただし母国語は選択不可)。 英和・独和・仏和辞典の利用可。電子辞書は利用不可。 [専門科目(選択)] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験について、開始時間が前後することがある。

●外国人入試 「筆記試験」(2科目)、「口述試験」

筆 記 試 験	口述試験※2
9:30~11:30	13:00~
①希望する専攻分野の専門科目(必須) ②外国語または専門科目(選択)のいずれかを選択 [外国語] 日本語・英語・独語・仏語のうち1科目。 英和・独和・仏和辞典の利用可、日本語の辞書は不可、電子辞書は利用不可。 [専門科目(選択)] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験について、開始時間が前後することがある。

【別表1】

専門科目	受験必須科目	指導教員
法 律 部 門		
外国法	外国法	捧 剛
日本法制史	日本法制史	長又 高夫
憲法	憲法	植村 勝慶
		平地 秀哉
行政法	行政法	高橋 信行
		川合 敏樹
国際法	国際法	宮内 靖彦
刑法	刑法	関 哲夫
		甘利 航司
刑事訴訟法	刑事訴訟法	中川 孝博

専門科目	受験必須科目	指導教員
民法	民法	門広乃里子
		一木 孝之
		佐藤 秀勝
商法	商法	鈴木 達次
		森川 隆
民事訴訟法	民事訴訟法	佐古田真紀子
労働法	労働法	本久 洋一
政 治 部 門		
日本政治史	日本政治史	坂本 一登
西洋政治思想史	西洋政治思想史	荻田 真司
政治学	政治学	上神 貴佳
		藤嶋 亮

注意 令和2年5月現在の状況に基づいている。最終的な募集の有無は本学ホームページで確認してください。

●社会人入試 「書類審査」、「小論文」、「口述試験」

受験資格	選 考		
	書類審査	9:30~11:30	13:00~
大学卒業者または卒業見込み者で、以下①~③のいずれかの条件を満たす者 ①入学予定時において就職している者（4月からの就職内定者と家事に専業している者を含む） ②10年以上の社会的実務経験がある者 ③社会人入試で学部に入学者	「研究計画書」 ※記入にあたっては、以下の点について留意すること。 ①「研究の目的」あなたの研究によって何を明らかにするのかを明確にすること。 ②「研究の特色」自らの社会的実務経験と研究課題との関連について明確にすること。 ③「研究の概要」希望する研究の内容と手順・手法について現時点において考えていることを具体的に明らかにすること。	「出願時に各自から提出された研究計画書にもとづく小論文」 (1,500字~2,000字)	口述試験

●学内成績選考入試 「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00~) [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格 出願時に國學院大学の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、次の成績基準を満たす者。

〈3年次在学者の成績基準〉※春季のみ募集

卒業見込みであるか否かにかかわらず、3年次前期までに修得した単位が100単位以上で、かつ成績通知書に記載された累積GPAが2.0以上であること。

〈4年次在学者の成績基準〉※秋季・春季とも募集

秋季入試で受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上で、かつ成績通知書に記載された累積GPAが2.0以上であること。

春季入試で受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上で、かつ成績通知書に記載された累積GPAが2.0以上であること。

●学内論文選考入試 「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00~) [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格 出願時に國學院大学の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、出願期間までに次の〈論文〉を完成し、下記の成績基準を満たす者。

〈論文〉法学・政治学・社会学に関連する論文（卒業論文や演習論文を含む）。字数は表紙、目次を含まず15,000字以上。注を付すること。（2部提出）

（注：「法学・政治学・社会学に関連する」とあるが、法学・政治学・社会学そのものの方法論によって書かれた論文に限定されるわけではない。）

〈3年次在学者の成績基準〉※春季のみ募集

3年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

〈4年次在学者の成績基準〉※秋季・春季ともに募集

秋季入試を受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上であること。

春季入試を受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

選考方法

経済学研究科

●一般入試 「筆記試験」、「口述試験」

一般入試 アカデミック・コース：「筆記試験(専門科目)」、「筆記試験(外国語)」、「口述試験」

筆 記 試 験		口 述 試 験
外国語	専門科目	
9 : 00～10 : 00	10 : 30～11 : 30	13 : 00～
英語 * 1 (英和辞書の利用可。但し、電子辞書の利用不可。)	下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 2 「経済学」、「経営学」、「会計学」	専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

- * 1 英語能力を示す書類として、出願時からさかのぼって2年以内に受験したTOEFL iBTスコア64点以上、TOEIC L&R スコア675点以上、IELTS Band(overall) 5.5以上のスコア表を提出した者は筆記試験を免除する。出願時にそれぞれの成績評価証明書(コピー可)を送付すること。
- * 2 「経済学」を選択し、2019年4月1日以降に受験した「ERE」または「ERE(ミクロ・マクロ)」におけるミクロ経済学とマクロ経済学の偏差値が55以上の成績証明書を提出した者は筆記試験を免除する。出願時にEREまたはERE(ミクロ・マクロ)の成績証明書の原本を送付すること。

一般入試 キャリア・コース：「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆 記 試 験		口 述 試 験
専 門 科 目		
10 : 30～11 : 30		13 : 00～
「会計学」(披見不可)		専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

●外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

外国人入試 アカデミック・コース：「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆 記 試 験		口 述 試 験
専 門 科 目		
10 : 30～11 : 30		13 : 00～
下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 1 「経済学」、「経営学」、「会計学」		専攻を希望する分野に関連し、研究計画に加えて、学部レベルの基礎知識についての口頭試問も含めて、1人あたり30分程度の時間で行う。

- * 1 「経済学」を選択し、2019年4月1日以降に受験した「ERE」または「ERE(ミクロ・マクロ)」におけるミクロ経済学とマクロ経済学の偏差値が55以上の成績証明書を提出した者は筆記試験を免除する。出願時にEREまたはERE(ミクロ・マクロ)の成績証明書の原本を送付すること。
- ※日本語能力試験N1レベルまたは日本留学試験日本語の成績が315点(記述30点以上)以上であることが証明できない場合、不合格となる。
- ※日本の大学を卒業した者は、この入試制度の対象外とする。一般入試を受験すること。
- ※外国人入試はアカデミック・コースのみ出願できる。キャリア・コースを志望する外国人はこの入試制度の対象外とする。一般入試を受験すること。
- ※英語能力の確認のため、出願時から2年以内に受験したTOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、国連英検、実用英語検定のいずれかのスコア証明等(コピー可)を保持している場合は、任意で出願時に送付すること。口述試験時に参照することがある。英語を母語とする者は送付不要。

●社会人入試

社会人入試 アカデミック・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選考		
	書類審査	小論文	口述試験
		9:00~11:00	13:00~
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき前期課程で研究を行う明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは、民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことを含む。	「研究計画書」 ①研究の目的 (研究によって明らかにしようとするポイント) ②研究の特色 (社会的実務経験から得た問題意識との関連) ③研究の概要 (研究の手順と手法)	「出願時に各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文」 (1,500字~2,000字)	専攻を希望する分野に関連して行う

社会人入試 キャリア・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選考		
	書類審査	小論文*1	口述試験
		9:00~11:00	13:00~
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき前期課程で研究を行う明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは、民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことを含む。	「研究計画書」 ①研究の目的 (研究によって明らかにしようとするポイント) ②研究の特色 (社会的実務経験から得た問題意識との関連) ③研究の概要 (研究の手順と手法)	「出願時に各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文」 (1,500字~2,000字)	専攻を希望する分野に関連して行う

*1 キャリア・コースを志望し、税理士試験において1科目以上合格している者は小論文試験を免除する。合格証明書(コピー可)を送付

●学内推薦入試

アカデミック・コース：「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00~)

受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、学部教員の推薦を受けた者

- ① 本学経済学部の4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者
- ② 本学経済学部を卒業して、2年以内の者
- ③ 累積GPAが2.2以上であること
 - (1) 本学経済学部の4年次在学中で、秋季に受験する場合には3年次までの累積GPA
 - (2) 本学経済学部の4年次在学中で、春季に受験する場合には4年次前期までの累積GPA
 - (3) 本学経済学部を卒業して、2年以内者は卒業時点の累積GPA

キャリア・コース：「書類審査」、「口述試験」(口述試験開始は13:00~)

受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、学部教員の推薦を受けた者

- ① 本学経済学部の4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者
- ② 本学経済学部を卒業して、2年以内の者
- ③ 累積GPAが2.2以上であること
 - (1) 本学経済学部の4年次在学中で、秋季に受験する場合には3年次までの累積GPA
 - (2) 本学経済学部の4年次在学中で、春季に受験する場合には4年次前期までの累積GPA
 - (3) 本学経済学部を卒業して、2年以内者は卒業時点の累積GPA

6. 博士後期課程

出願資格

以下の(1)～(4)のいずれかの要件を満たす者

- (1) 修士の学位を有する者、または見込者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を得た者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) その他、本大学院が修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

選考方法

文学研究科

文学研究科【博士後期課程】※秋季入試は既修了(卒業)者または9月修了(卒業)者を対象とする。

●一般入試 「筆記試験」、「口述試験」

選考方法	筆記試験		口述試験
	専門科目		
専攻	コース(主分野)	10:00～11:30	13:00～
神道学・宗教学専攻		神道学または宗教学(事前選択)	専攻を希望する分野に関して行う(研究上必要な外国語については、口述の際にその能力を確認することができる)。
文学専攻	日本文学	日本文学	
	日本語学	日本語学	
	中国文学	中国文学	
	伝承文学	伝承文学	
	高度国語・日本語教育	国語教育または日本語教育(事前選択)	
史学専攻	日本史学	日本史学または歴史地理学(試験当日選択)	
	外国史学	東洋史学または西洋史学 ※1(事前選択)	
	考古学	考古学	
	美学美術史	美学美術史	
	博物館学	博物館学	

※1 西洋史学試験について

辞書の持ち込み可(英和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可)。

●外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

選考方法	筆記試験		口述試験
	専門科目		
専攻	コース(主分野)	10:00～11:30	13:00～
神道学・宗教学専攻		神道学または宗教学(事前選択)	専攻を希望する分野に関して行う(研究上必要な外国語については、口述の際にその能力を確認することができる)。
文学専攻	日本文学	日本文学	
	日本語学	日本語学	
	中国文学	中国文学	
	伝承文学	伝承文学	
	高度国語・日本語教育	国語教育または日本語教育(事前選択)	
史学専攻	日本史学	日本史学または歴史地理学(試験当日選択)	
	外国史学	東洋史学または西洋史学 ※1(事前選択)	
	考古学	考古学	
	美学美術史	美学美術史	
	博物館学	博物館学	

※1 西洋史学試験について

辞書の持ち込み可(英和辞書のみ。ただし、電子辞書の類は不可)。

●社会人入試 「書類審査」、「口述試験」

選考方法 専攻	出願資格	選考	
		書類審査	13:00～
神道学・宗教学 専攻	入学予定時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者 ①最終学歴〈学士〉で出願する者 学士の学位取得後5年以上を経過し、博士前期課程(修士課程)を修了した者と同等以上の学力があると認められ、かつ研究業績を有する者 ②最終学歴〈修士〉で出願する者 修士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者	<ul style="list-style-type: none"> 「研究計画書」 「研究業績書」(但し、①の者) 	口述試験
文学専攻			
史学専攻			

選考方法

法学研究科

法学研究科【博士後期課程】

●一般入試・外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

筆記試験 ※1	口述試験 ※2
9:30～11:00	13:00～
・外国語：英語・独語・仏語のうち1科目。 英和・独和・仏和辞典の利用可。電子辞書は利用不可。	希望する専門科目について行う

※1 日本法制史の分野を専攻する者は、外国語を日本法制史に関する史料解読に代えることができる。

※2 口述試験は、開始時間が前後することがある。

選考方法

経済学研究科

経済学研究科【博士後期課程】

●一般入試・外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

筆記試験	口述試験
外国語	
9:00～10:30	13:00～
英語 (英和辞書の利用可。但し、電子辞書の利用不可。)	修士論文を審査するとともに専門分野に関連して行う (30分程度)

●社会人入試 「書類審査」、「口述試験」

出願資格	口述試験
	13:00～
大学院博士前期課程(修士課程)修了者または修了見込者で、以下①②のいずれかの条件を満たす者 ①学士の称号または学位取得後から大学院受験時まで5年以上の社会的実務経験を有し、かつ研究業績を有する者 ②修士の学位取得後から大学院入試時まで2年以上の社会的実務経験を有する者 ※社会的実務経験とは、公的機関、民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほか、家業に継続して従事したことを含む。	修士論文を審査するとともに専門分野に関連して行う (30分程度)

7. 各入試共通事項



出願書類一覧

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/p1/p4>

博士前期課程 各入試制度・各研究科において○印の付いた書類が、提出必要書類である。

提出書類	様式・種類	ダウンロード可(★)	備考	入 試 制 度																	
				一般			外国人			社会人			学内成績 学外成績 学内論文		学内 推薦						
				文	法	経	文	法	経	文	法	経	文	法	経						
入学志願票	所定用紙①		願書受付日3か月以内に撮影した写真2枚を貼付	○			○			○			○		○						
口述調査書	所定用紙③	★	志願票と同じ写真1枚を貼付	○			○			○			○		○						
研究計画書	所定用紙④	★	2,000字程度2部(1部写し可)	○			○			○			○								
	所定用紙⑤	★	2部(1部写し可)		○			○			○			○							
	所定用紙⑥	★	2,000字程度2部(1部写し可)			○		○			○				○						
志願理由及び自己推薦書	所定用紙⑦	★	自己推薦書には推薦理由を明示する資料を添えてもよい										○		○						
外国籍調査書	所定用紙⑩	★	(兼入学資格審査調査書)			※5			※5			※5			※5						
証明書	出身大学学部の「卒業(見込み)証明書」及び「成績証明書」		証明書は出願の3か月以内に発行されたもの		○	※2			○	※1			○	※3		○	※4		○	※4	
返信用封筒	定形長型3号封筒		1部(本人の宛先・宛名を明記)、374円切手貼付			○			○				○			○					
その他の提出書類						○			○				○	※6		○	○	○	※7	※8	※9
						※10			○				○		※10						
						○			○												
						○			○												

★國學院大學大学院ホームページよりファイルをダウンロードし、作成することも可能。2枚綴りの所定用紙は、両面印刷すること。

※1：外国の大学(大学院)を卒業(修了)した者、卒業(修了)見込みである者、または「外国人入試」に出願する者は、出身大学(大学院)が発行する証明書を提出すること。ただし、外国大学卒業で卒業証明書に学位の記載がない場合は、学位の取得を証明する書類(学位授与証明書等)を提出すること。

日本語以外で記述されている場合は、必ず日本語訳を添付すること。

※2：3年生については「卒業見込み証明書」は不要。

※3：最終大学(大学院)の「卒業(修了)証明書」および「成績証明書」

法学・経済学研究科出願者の出身大学(大学院)証明書は、「卒業(修了)見込み証明書」も含まれる。

※4：3年生については「卒業見込み証明書」は不要。「成績証明書」はGPA記載のもの。

※5：外国籍の者のみ、「外国籍調査書」とパスポート及び在留カードのコピーを必ず提出すること。

※6：在職中の者は在職証明書を提出すること。

※7：文学研究科文学・史学専攻の学内成績選考入試の春季出願者は、卒業論文または演習・ゼミ論文の写を提出すること。

文学研究科文学専攻の学外成績選考入試の春季出願者は、卒業論文の写を提出すること。

※8：法学研究科「学内成績選考入試」の受験を希望する場合は、本学教員(兼任講師を含む)の推薦書を提出することが望ましい。

「学内論文選考入試」の出願者は、法学・政治学に関連する論文(卒業論文や演習論文を含む)を提出すること。

字数は表紙、目次を含まず15,000字以上。注を付すこと。2部提出。

注：「法学・政治学に関連する」とあるが、法学・政治学に直接関連する論文に限定されるわけではない。

※9：経済学研究科学内推薦の受験者は、学部教員の推薦書(様式自由)を提出すること。

※10：経済学研究科でキャリア・コースの受験者は、税理士試験等結果通知書、一部科目合格通知書または一部科目合格証明書のいずれかのコピーを提出すること。

※11：経済学研究科で、「専門科目」の筆記試験免除を希望する者は、EREまたはERE(ミクロ・マクロ)の成績証明書の原本を提出すること。「英語」の筆記試験免除を希望する者は、TOEFL等指定する成績評価証明書を提出すること。「外国人入試」を希望する者は、N1等指定する成績通知書を提出すること。また、英語能力を証明できる書類を提出すること。

◆他の大学(大学院)に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学(大学院)の「退学証明書」を提出すること。令和3〔2021〕年3月卒業見込者または修了見込者は不要。

◆身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願受付開始日の30日前までに、必ず大学院事務課(03-5466-0142)に連絡してください。

博士後期課程 各入試制度・各研究科において○印の付いた書類が、提出必要書類である。

提出書類	様式・種類	ダウンロード可(★)	備考	入試制度							
				一般			外国人			社会人	
				文	法	経	文	法	経	文	経
入学志願票	所定用紙②		願書受付日3ヶ月以内に撮影した写真2枚を貼付	○			○			○	○
口述調査書	所定用紙③	★	志願票と同じ写真1枚を貼付	○			○			○	○
研究計画書	所定用紙④	★	2,000字程度2部(1部写し可)	○			○			○	
	所定用紙⑤	★	2部(1部写し可)		○			○			○
	所定用紙⑥	★	2,000字程度2部(1部写し可)			○			○		
修士論文要旨	所定用紙⑧	★	2,000字程度2部(1部写し可)	○			○				
			400字詰原稿用紙20枚程度を2部(1部写し可)				○				
			400字詰原稿用紙10枚程度を3部(2部写し可)						○		
研究業績書	所定用紙⑨	★								○※1	○
外国籍調査書	所定用紙⑩	★	(兼入学資格審査調査書)	※6			※6			※6	
証明書	博士課程前期(修士)の「修了(見込)証明書」および「成績証明書」		証明書は出願の3か月以内に発行されたもの	○			○※2			○※3	
返信用封筒	定形長型3号封筒		1部(本人の宛先・宛名を明記)、374円切手貼付	○			○			○	○
その他の提出書類	修士論文の写し		1部(過年度修了者は最新の研究業績でも可)	○			○			○	
			2部(本学大学院前期課程修了見込者は不要。)外国語の場合は日本語訳を付ける		○	○※4		○	○		○※5
	研究状況の概要書	様式自由	修士の学位を取得して2年以上経た者が対象		○			○			
	研究業績の抜粋		各1部(コピー可)							○	○
	在職証明										○※7

★國學院大學大学院ホームページよりファイルをダウンロードし、作成することも可能。2枚綴りの所定用紙は、両面印刷すること。

※1：最終学歴(修士)で出願する者は提出不要。

※2：外国の大学院(大学)を修了(卒業)した者、修了(卒業)見込みである者、または「外国人入試」に出願する者は、出身大学院(大学)が発行する証明書を提出すること。ただし、外国大学卒業で卒業証明書に学位の記載がない場合は、学位の取得を証明する書類(学位授与証明書等)を提出すること。

日本語以外で記述されている場合は、必ず日本語訳を添付すること。

※3：最終大学院(大学)の「修了(卒業)証明書」及び「成績証明書」

※4：過年度に大学院博士前期課程(修士課程)を修了した者は、修士論文または修士論文を加筆・修正した論文を提出すること。

※5：最終学歴(修士)で出願する者は修士論文。なお、修士論文に加えてその後の研究業績を追加して提出しても可。

最終学歴(学士)で出願する者は修士論文に相当すると考えられる研究業績。いずれもコピー可。

※6：外国籍の者のみ、「外国籍調査書」とパスポート及び在留カードのコピーを必ず提出すること。

※7：在職中の者は在職証明書を提出すること。

◆他の大学院に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学院の「退学証明書」を提出すること。令和3(2021)年3月修了見込者は不要。

◆身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願受付開始日の30日前までに、必ず大学院事務課(03-5466-0142)に連絡してください。

大学院 入試コード一覧表 志願票等各種出願書類「入試コード」4マスに入試コードを記入すること。

秋季試験

春季試験

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 3 1 M
			文 学	A 3 1 Q
			史 学	A 3 1 S
			法 学	A 3 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	A 3 1 N
			文 学	A 3 1 R
			史 学	A 3 1 T
			法 学	A 3 2 E
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 3 1 M
			文 学	D 3 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 3 2 E
			法 学	D 3 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 3 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 3 1 M
			文 学	B 3 1 Q
			史 学	B 3 1 S
			法 学	B 3 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 3 1 N
			文 学	B 3 1 R
			史 学	B 3 1 T
			法 学	B 3 2 E
前期	文 学	神道学・宗教学	C 3 1 M	
		文 学	C 3 1 Q	
		史 学	C 3 1 S	
		法 学	C 3 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 3 1 N	
		文 学	C 3 1 R	
		史 学	C 3 1 T	
		法 学	C 3 2 E	

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 M
			文 学	A 1 1 Q
			史 学	A 1 1 S
			法 学	A 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 N
			文 学	A 1 1 R
			史 学	A 1 1 T
			法 学	A 1 2 K
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M
			文 学	B 1 1 Q
			史 学	B 1 1 S
			法 学	B 1 2 E
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N
			文 学	B 1 1 R
			史 学	B 1 1 T
			法 学	B 1 2 K
前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
		文 学	C 1 1 Q	
		史 学	C 1 1 S	
		法 学	C 1 2 E	
後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
		文 学	C 1 1 R	
		史 学	C 1 1 T	
		法 学	C 1 2 K	
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M
			文 学	D 1 1 Q
学内論文選考入試	前期	法 学	法律学	D 1 2 E
			法 学	D 1 2 E
学内推薦入試	前期	経済学	経済学	H 1 3 F

各専攻のコース・分野

専攻	コース・分野
神道学・宗教学	神道学 宗教学
文 学	日本文学
	日本語学
	中国文学
	伝承文学
	高度国語・日本語教育
史 学	日本史学
	外国史学
	考古学
	美学美術史
	博物館学
法 律 学	法律(研究コース・公務員養成コース)
	政治(研究コース・公務員養成コース)
経 済 学	アカデミック
	キャリア

※志願票に希望する専攻のコース・分野を必ず記入してください。

●出願・受験上の注意

1. 志願票表面の選択受験する科目を必ず○で囲み、所定事項は楷書で正確に記入してください。
2. 出願後の受験科目の変更は認めません。
3. 試験当日は受験票を携帯し、試験開始15分前までに試験場に入り、係員の指示に従ってください。
4. 受理した書類および入学検定料等は、事情のいかんにかかわらず返還しません。
5. 試験当日、学校保健法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治療していない者は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。
また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理には十分注意してください。
ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた場合には、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置は行いません。ただし、診断内容がインフルエンザの場合についてのみ、試験実施日より1週間以内に医師の診断書を添えて大学院事務課に申し出をした場合は、受験料を返還いたします。

●入学検定料と納入方法

入学検定料は1回の試験につき、**35,000円**です。入学志願票に必要事項を記入後、最寄りの金融機関の窓口（ATMは利用できません）から本学指定の銀行口座へお振込みください。もしくは、証明書自動発行機（渋谷キャンパス若木タワー1・2階に設置）から納入することもできますので、いずれかの方法により入学検定料を納入してください。

①金融機関を利用する場合（ゆうちょ銀行は利用不可です。）

振込用紙は入学志願票と一連になっていますので、各票に必要事項を記入の上、**切り離さずに取扱店窓口へ持参してください（!!注意!! ATMは利用しないでください）**。振込終了後、志願票【A票】【C票】に取扱店の**収納印**が押されていることを必ず確認してください。志願票【C票】は領収書ですので各自保管してください。
本学指定の振込先銀行口座は次のとおりです。

銀行名	支店名	口座番号
みずほ銀行	渋谷中央支店	普通No.1391131
三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通No.8195674
りそな銀行	渋谷支店	普通No.0093868

*手数料について

本学指定の銀行の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の銀行等からの振込みの際の手数料は、本人負担となります。

②証明書自動発行機を利用する場合

証明書自動発行機は、渋谷キャンパス若木タワー1階（1台）・2階（2台）に設置されています。

《操作手順》

学外者・一部の過年度生 を選択してください。



卒業生／修了生 を選択してください。



大学院（学外者）申請書 を選択してください。



345大学院入学 検定料 を選択してください。



発行部数 は1を選択してください。



発行画面へ を選択して検定料をお支払いください。

領収証が必要な方は **領収書あり** を選択してください。



申請書（A4サイズ）が出力されますので、出願書類とあわせてご提出ください。

* 証明書自動発行機の稼働時間

月～土曜日 9：00～21：00 ※日曜・祝日は終日停止

（夏季・年末年始・大学行事日は、稼働時間が変更されることがあります。変更に関するお知らせは大学ホームページをご確認ください。）

* 金融機関からの振込と異なり、志願票【C票】【D票】は使用しません。

●入学手続

〈秋季合格者〉

第1次提出書類 ①「入学申込金100,000円」を本学指定の銀行に納入した振込連絡票の写し（A4サイズ）

②誓約書・履歴書

③保証書

④研究題目届（希望指導教員記入）

⑤写真台紙＝本学所定用紙にカラー写真（3cm×3cm）を貼付すること。

⑥封筒（本人宛第2次手続連絡用に使用。長型3号サイズ・住所・宛名記載。切手不要）

以上①～⑥を大学院事務課に提出する。

第2次提出書類 ①「学費・諸費等の納付金（第1次手続の「入学申込金」を控除した残額）」本学指定の銀行に納入した振込連絡票（所定用紙・大学提出用）

②卒業または修了証明書（既卒者は不要）

③在留カードの写し（表・裏） 外国籍の者は必ず提出すること。

以上①～③を大学院事務課に提出する。（第2次手続の納付金所定用紙については2月中旬頃までに改めて送付する）

※証明書は手続の3か月以内に発行されたもの。

〈春季合格者〉

提出書類 ①「学費・諸費等の納付金」を本学指定の銀行に納入した振込連絡票（所定用紙・大学提出用）。

②卒業または修了証明書（本大学院出身者・既卒者は不要）

③誓約書・履歴書

④保証書

⑤研究題目届（希望指導教員記入）

⑥在留カードの写し（表・裏） 外国籍の者は必ず提出すること。

⑦写真台紙＝本学所定用紙にカラー写真（3cm×3cm）を貼付すること。

以上①～⑦を大学院事務課に提出する。（原則として郵送は不可。ただし特別な理由のある者は、事前に相談すること）

※証明書は手続の3か月以内に発行されたもの。

●学費等納付金

令和2年度の学費等納付金一覧（令和3年度分は未定のため参考として掲載）

単位：円

項 目	前期課程						後期課程						
	本学出身者			他大学出身者			本学（前期課程）出身者			他大学出身者			
	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	
学 費	入 学 金	100,000	100,000	—	200,000	200,000	—	—	—	—	200,000	200,000	—
	授 業 料	505,000	261,000	244,000	505,000	261,000	244,000	505,000	261,000	244,000	505,000	261,000	244,000
	施 設 設 備 費	100,000	50,000	50,000	200,000	100,000	100,000	—	—	—	200,000	100,000	100,000
	維 持 運 営 費	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—
	小 計	715,000	421,000	294,000	915,000	571,000	344,000	515,000	271,000	244,000	915,000	571,000	344,000
諸 費	大学院紀要代	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	(文)國學院雑誌代	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	(法)國學院法学代	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—	3,000	3,000	—
	(経)経済学会費	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
	院友会(同窓会)入会金	—	—	—	10,000	10,000	—	—	—	—	10,000	10,000	—
	文学研究科	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—
	法学研究科	5,000	5,000	—	15,000	15,000	—	5,000	5,000	—	15,000	15,000	—
経済学研究科	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—	4,000	4,000	—	14,000	14,000	—	
合 計	文学研究科	719,000	425,000	294,000	929,000	585,000	344,000	519,000	275,000	244,000	929,000	585,000	344,000
	法学研究科	720,000	426,000	294,000	930,000	586,000	344,000	520,000	276,000	244,000	930,000	586,000	344,000
	経済学研究科	719,000	425,000	294,000	929,000	585,000	344,000	519,000	275,000	244,000	929,000	585,000	344,000

- 備考 1. 入学手続き時は前期分の学費等納付金をお振込みください。
後期分の学費の納付につきましては、入学後にご案内します。
2. 授業料、施設設備費、維持運営費は在学中毎年度納入するものとします。
3. 本学出身者の入学金および施設設備費については、次のとおりです。
イ. 前期課程 半額
ロ. 後期課程 本学前期課程修了者は徴収しない。
本学学部出身者で、他大学前期課程修了者は半額。
4. 大学院紀要代・國學院雑誌代には消費税が含まれます。

*國學院大學教学充実資金の依頼について

本学教学内容の維持・充実に資するため、維持費（1口20万円）のご寄付をお願いしております。
これは任意ではありますが、ぜひ1口以上のご協力をお願い申し上げます。

●奨学金制度

1. 國學院大學大学院の奨学金について
令和2年度より、従来の奨学金制度をより明確且つ客観的な根拠に基づき、選考する趣旨のもと、学業・人物ともに優秀かつ、特に経済的に困難を抱えている在学学生を支援する「経済支援型」、及び、特に学業や研究業績の優秀者を支援する「学業奨励型」があります。2種の奨学金は併願を可能とします。詳細は、大学ホームページでご確認ください。
2. 日本学生支援機構奨学金（貸与）
日本学生支援機構の奨学生として採用された場合には貸与月額（第一種奨学金の月額）、前期課程50,000円または88,000円・後期課程80,000円または122,000円が貸与されます。
3. 経済学研究科税理士試験支援奨学金
経済学研究科キャリアコースに在学し、税理士試験に1科目以上合格している学生を対象に、大学の指定する外部セミナーの受講料相当額の50%で、1回につき10万円を限度として支援します。
4. その他
神社本庁・地方公共団体・民間団体等の奨学金などがあります。

●入学辞退による学費等の返還について

入学手続き完了後、やむをえない事由により入学を辞退される場合は、申出期間までに申し出てください。書面による所定の手続きを経て、入学金を除く授業料等を返還します（4月中旬振込予定）。

申 出 期 限 令和3年3月31日(水) 午後4時
書 面 提 出 先 國學院大學大学院事務課 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
電 話 03-5466-0142

令和2年度 大学院入学試験実施状況

【秋季・春季合計】

課程	研究科	専攻	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数		
			本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計
前期	文学	神道学・宗教学	4	6	10	4	6	10	3	3	6	3	3	6
		文学	15	41	56	13	37	50	12	13	25	11	10	21
		史学	30	21	51	30	21	51	22	11	33	21	10	31
		計	49	68	117	47	64	111	37	27	64	35	23	58
	法学	法律学	7	3	10	6	3	9	3	3	6	2	3	5
	経済学	経済学	6	22	28	6	16	22	6	7	13	6	7	13
前期課程 計			62	93	155	59	83	142	46	37	83	43	33	76
後期	文学	神道学・宗教学	7		7	7		7	3		3	3		3
		文学	8	6	14	7	5	12	6	4	10	5	4	9
		史学	10	4	14	10	3	13	10	1	11	9		9
		計	25	10	35	24	8	32	19	5	24	17	4	21
	法学	法律学												
	経済学	経済学	2		2	2		2	1		1	1		1
後期課程 計			27	10	37	26	8	34	20	5	25	18	4	22
前期・後期総計			89	103	192	85	91	176	66	42	108	61	37	98

【秋季入学試験】

課程	研究科	専攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数		
				本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計
前期	文学	神道学・宗教学	一般		1	1		1	1						
			学内成績	3		3	3		3	3		3	3		3
			外国人		2	2		2	2		2	2		2	2
			計	3	3	6	3	3	6	3	2	5	3	2	5
		文学	一般	7	4	11	7	4	11	7	3	10	6	3	9
			学内成績	9		9	8		8	7		7	7		7
			外国人		14	14		12	12		5	5		2	2
			計	16	18	34	15	16	31	14	8	22	13	5	18
		史学	一般	6	5	11	6	5	11	3	3	6	3	3	6
	学内成績		4		4	4		4	4		4	4		4	
	社会人		1	4	5	1	4	5	1		1	1		1	
	外国人			3	3		3	3		3	3		3	3	
		計	11	12	23	11	12	23	8	6	14	8	6	14	
		計	30	33	63	29	31	60	25	16	41	24	13	37	
	法学	法律学	一般	1		1	1		1						
			社会人		1	1		1	1		1	1		1	1
		計	1	1	2	1	1	2		1	1		1	1	
経済学	経済学	一般		1	1		1	1							
		学内推薦	1		1	1		1	1		1	1		1	
		社会人	1	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
		外国人		2	2		2	2							
	計	2	6	8	2	5	7	2	2	4	2	2	4		
前期課程 計			33	40	73	32	37	69	27	19	46	26	16	42	
後期	文学	神道学・宗教学	一般	1		1	1		1						
			計	1		1	1		1						
		文学	社会人	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2
			外国人		1	1		1	1						
		計	1	2	3	1	2	3	1	1	2	1	1	2	
	計	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1	1	2		
後期課程 計			2	2	4	2	2	4	1	1	2	1	1	2	
総計			35	42	77	34	39	73	28	20	48	27	17	44	

【春季入学試験】

課程	研究科	専攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数			
				本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	本学	他学	計	
前期	文学	神道学・宗教学	一般	1		1	1		1	1		1	1		1	
			社会人	1	2	3	1	2	3		1	1		1	1	
		計			2	2	4	2	2	4	1	1	2	1	1	2
		文学	一般	1	4	5		3	3		2	2		2	2	
			学内成績		1	1		1	1		1	1		1	1	
			学内成績	1		1	1		1							
			外国人		18	18		17	17		2	2		2	2	
		計			2	23	25	1	21	22		5	5		5	5
		史学	一般	11	5	16	11	5	16	7	3	10	6	2	8	
			学内成績	3		3	3		3	3		3	3		3	
	社会人		1	2	3	1	2	3	1	1	2	1	1	2		
	外国人			3	3		3	3		1	1		1	1		
	計			15	10	25	15	10	25	11	5	16	10	4	14	
	計			19	35	54	18	33	51	12	11	23	11	10	21	
法学	法律学	一般	3		3	3		3	1		1	1		1		
		学内成績	2		2	2		2	2		2	1		1		
		学内論文	1		1											
		社会人		1	1		1	1		1	1		1	1		
		外国人		1	1		1	1		1	1		1	1		
計			6	2	8	5	2	7	3	2	5	2	2	4		
経済学	経済学	一般		1	1		1	1								
		学内推薦	1		1	1		1	1		1	1		1		
		社会人	3	6	9	3	5	8	3	4	7	3	4	7		
		外国人		9	9		5	5		1	1		1	1		
計			4	16	20	4	11	15	4	5	9	4	5	9		
前期課程 計			29	53	82	27	46	73	19	18	37	17	17	34		
後期	文学	神道学・宗教学	一般	6		6	6		6	3		3	3		3	
			計	6		6	6		6	3		3	3		3	
		文学	一般	5		5	4		4	3		3	2		2	
			社会人	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	
			外国人		3	3		2	2		2	2		2	2	
		計			7	4	11	6	3	9	5	3	8	4	3	7
	史学	一般	8	2	10	8	2	10	8		8	7		7		
		社会人	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1		1		
		外国人	1	1	2	1		1	1		1	1		1		
	計			10	4	14	10	3	13	10	1	11	9		9	
計			23	8	31	22	6	28	18	4	22	16	3	19		
経済学	経済学	一般	2		2	2		2	1		1	1		1		
		計	2		2	2		2	1		1	1		1		
後期課程 計			25	8	33	24	6	30	19	4	23	17	3	20		
総計			54	61	115	51	52	103	38	22	60	34	20	54		

【再入学(春季実施)】

課程	研究科	専攻	志願	受験	合格	手続
後期	文学	文学	2	2	2	2
		史学	3	3	3	3
総計			5	5	5	5

8. 授業科目（令和2年度開講）と担当教員

博士前期(修士)課程〔文学研究科 神道学・宗教学専攻〕

* 神道専攻課程Ⅱ類希望者は、※印必修、○△□印各1科目選択必修

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
神道学・宗教学理論演習	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○石井研士	
神道神学研究AⅠ	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	※
神道神学研究BⅠ	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	※
神道神学研究AⅡ	(演習)				※令和2年度休講
神道神学研究BⅡ	(演習)				※令和2年度休講
神道史研究AⅠ	(演習)	客員教授	博士(歴史学・國學院大學)	○岡田莊司	◎
神道史研究BⅠ	(演習)	客員教授	博士(歴史学・國學院大學)	○岡田莊司	◎
神道史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	◎
神道史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	◎
神社史研究AⅠ	(演習)				令和2年度休講
神社史研究BⅠ	(演習)				令和2年度休講
神社史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
神社史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
祭祀研究AⅠ	(演習)				□令和2年度休講
祭祀研究BⅠ	(演習)				□令和2年度休講
神道古典研究A	(演習)	兼担教授	博士(神道学・國學院大學)	松本久史	※
神道古典研究B	(演習)	兼担教授	博士(神道学・國學院大學)	松本久史	※
神道古典研究A	(講義)				令和2年度休講
神道古典研究B	(講義)				令和2年度休講
神道思想史研究A	(講義)	兼担准教授	博士(神道学・國學院大學)	大東敬明	
神道思想史研究B	(講義)	兼担准教授	博士(神道学・國學院大學)	大東敬明	
神社行政・管理研究A	(講義)				※隔年開講 令和2年度休講
神社行政・管理研究B	(講義)				※隔年開講 令和2年度休講
宗教学研究AⅠ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	△
宗教学研究BⅠ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	△
宗教学研究AⅡ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○石井研士	△
宗教学研究BⅡ	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○石井研士	△
宗教社会学研究AⅠ	(演習)	客員教授	博士(宗教学・國學院大學)	○井上順孝	△
宗教社会学研究BⅠ	(演習)	客員教授	博士(宗教学・國學院大學)	○井上順孝	△
宗教社会学研究AⅡ	(演習)	兼担教授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	△
宗教社会学研究BⅡ	(演習)	兼担教授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	△
宗教行政研究A	(講義)				※専攻科と合併 令和2年度休講
宗教行政研究B	(講義)				※専攻科と合併 令和2年度休講
祭祀研究A	(講義)	兼担准教授	博士(神道学・國學院大學)	加瀬直弥	□
祭祀研究B	(講義)	兼担准教授	博士(神道学・國學院大學)	加瀬直弥	□
宗教哲学研究AⅠ	(講義)	兼任講師	文学博士(慶應義塾大学)	鈴木正崇	
宗教哲学研究BⅠ	(講義)	兼任講師	文学博士(慶應義塾大学)	鈴木正崇	
宗教哲学研究AⅡ	(講義)				令和2年度休講
宗教哲学研究BⅡ	(講義)				令和2年度休講
仏教研究A	(講義)	兼任講師	博士(文学・総合研究大学院大学)	岡野浩二	
仏教研究B	(講義)	兼任講師	博士(文学・総合研究大学院大学)	岡野浩二	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
キリスト教研究 A	(講義)	兼任講師	文学博士(筑波大学)	山中 弘	
キリスト教研究 B	(講義)	兼任講師	文学博士(筑波大学)	山中 弘	
イスラーム研究 A	(講義)				令和2年度休講
イスラーム研究 B	(講義)				令和2年度休講
神社教化研究 A	(講義)	兼任教授	博士(宗教学・國學院大學)	齊藤 智朗	※
神社教化研究 B	(講義)	兼任教授	博士(宗教学・國學院大學)	齊藤 智朗	※
神社祭式基礎研究 A	(講義)	兼任教授		茂木 貞純	※専攻科と合併
神社祭式基礎研究 B	(講義)	兼任教授		茂木 貞純	※専攻科と合併
神社祭式研究 A	(講義)	兼任教授		茂木 貞純	※専攻科と合併
神社祭式研究 B	(講義)	兼任教授		茂木 貞純	※専攻科と合併
神社祭式応用研究 A	(講義)				※隔年開講 令和2年度休講
神社祭式応用研究 B	(講義)				※隔年開講 令和2年度休講
社会科教育学研究 A	(講義)				令和2年度休講
社会科教育学研究 B	(講義)				令和2年度休講
公民科教育学研究 A	(講義)				令和2年度休講
公民科教育学研究 B	(講義)				令和2年度休講

博士前期(修士)課程 [文学研究科 文学専攻]

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本古典研究 A	(講義)				オムニバス形式 令和2年度休講
日本古典研究 B	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○大石 泰夫	オムニバス形式
海外日本文学研究	(講義)	兼任教授	博士(日本語日本文学・学習院大学)	平藤 喜久子	
比較文学研究	(講義)	兼任講師		田村 充正	
対照言語研究 A I	(講義)	兼任教授		野呂 健	
対照言語研究 B I	(講義)	兼任教授		野呂 健	
対照言語研究 A II	(講義)	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	河崎 みゆき	
対照言語研究 B II	(講義)	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	河崎 みゆき	
関係外国語研究 A	(講義)				令和2年度休講
関係外国語研究 B	(講義)				令和2年度休講
日中古典比較研究 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	塚越 義幸	
日中古典比較研究 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	塚越 義幸	
アジア文化比較研究 A	(講義)	兼任講師	文学博士(高麗大学校)	伊藤 好英	
アジア文化比較研究 B	(講義)	兼任講師	文学博士(高麗大学校)	伊藤 好英	
アカデミック・ライティング A	(講義)	兼任教授	博士(日本語日本文学・学習院大学)	平藤 喜久子	
アカデミック・ライティング B	(講義)	兼任准教授	博士(文学・関西大学)	牧野 格子	
日本古典実習 A	(実習)				令和2年度休講
日本古典実習 B	(実習)				令和2年度休講
日本伝承文化実習	(実習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○大石 泰夫	
日本文学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○井上 明芳	
日本語学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○小田 勝	
中国文学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○浅野 春二	
伝承文学研究法	(講義)	教授	博士(民俗学・國學院大學)	○小川 直之	
日本語教育学研究法	(講義)	教授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本上代文学研究A I	(演習)				令和2年度休講
日本上代文学研究B I	(演習)				令和2年度休講
日本上代文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○谷 口 雅 博	
日本上代文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○谷 口 雅 博	
日本中古文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○針 本 正 行	
日本中古文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○針 本 正 行	
日本中古文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○山 田 利 博	
日本中古文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○山 田 利 博	
日本中古文学研究A III	(演習)				令和2年度休講
日本中古文学研究B III	(演習)				令和2年度休講
日本中世文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○野 中 哲 照	
日本中世文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○野 中 哲 照	
日本近世文学研究A I	(演習)				令和2年度休講
日本近世文学研究B I	(演習)				令和2年度休講
日本近現代文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○石 川 則 夫	
日本近現代文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○石 川 則 夫	
日本近現代文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○井 上 明 芳	
日本近現代文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○井 上 明 芳	
日本古代語研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○小 田 勝	
日本古代語研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○小 田 勝	
日本古代語研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○吉 田 永 弘	
日本古代語研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○吉 田 永 弘	
日本近代語研究A	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○諸 星 美智直	
日本近代語研究B	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○諸 星 美智直	
日本現代語研究A	(演習)				令和2年度休講
日本現代語研究B	(演習)				令和2年度休講
中国文学研究A I	(演習)	教 授		○石 本 道 明	
中国文学研究B I	(演習)	教 授		○石 本 道 明	
中国文学研究A II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○赤 井 益 久	
中国文学研究B II	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○赤 井 益 久	
中国文学研究A III	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○浅 野 春 二	
中国文学研究B III	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○浅 野 春 二	
中国文学研究A IV	(演習)	教 授		○宮 内 克 浩	
中国文学研究B IV	(演習)	教 授		○宮 内 克 浩	
伝承文学研究A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○花 部 英 雄	
伝承文学研究B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○花 部 英 雄	
伝承文学研究A II	(演習)	准 教 授	博士(文学・國學院大學)	○飯 倉 義 之	
伝承文学研究B II	(演習)	准 教 授	博士(文学・國學院大學)	○飯 倉 義 之	
伝統芸能研究A	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○大 石 泰 夫	
伝統芸能研究B	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○大 石 泰 夫	
民俗学研究A I	(演習)	准 教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○服 部 比呂美	
民俗学研究B I	(演習)	准 教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○服 部 比呂美	
民俗学研究A II	(演習)	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○小 川 直 之	
民俗学研究B II	(演習)	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	○小 川 直 之	
民俗学研究A III	(演習)				令和2年度休講
民俗学研究B III	(演習)				令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本文学史研究 A I	(講義)				(上代) 令和2年度休講
日本文学史研究 B I	(講義)				(上代) 令和2年度休講
日本文学史研究 A II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	山田直巳	(中古)
日本文学史研究 B II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	山田直巳	(中古)
日本文学史研究 A III	(講義)				(近現代) 令和2年度休講
日本文学史研究 B III	(講義)				(近現代) 令和2年度休講
日本文学特論 A I	(講義)	兼任講師		多田元	(上代)
日本文学特論 B I	(講義)	兼任講師		多田元	(上代)
日本文学特論 A II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	豊島秀範	(中古)
日本文学特論 B II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	豊島秀範	(中古)
日本文学特論 A III	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	小林健二	(中世)
日本文学特論 B III	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	小林健二	(中世)
日本文学特論 A IV	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	大高洋司	(近世)
日本文学特論 B IV	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	大高洋司	(近世)
日本語語法学 A I	(講義)	兼任講師		北澤尚	
日本語語法学 B I	(講義)	兼任講師		北澤尚	
日本語語法学 A II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	小柳智一	
日本語語法学 B II	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	小柳智一	
日本語学史 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	岩下裕一	
日本語学史 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	岩下裕一	
日本語音韻史 A	(講義)	兼任講師		肥爪周二	
日本語音韻史 B	(講義)	兼任講師		肥爪周二	
日本語学特論 A I	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	村山昌俊	
日本語学特論 B I	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	村山昌俊	
日本語学特論 A II	(講義)	客員教授	博士(文学・國學院大學)	○久野マリ子	
日本語学特論 B II	(講義)	客員教授	博士(文学・國學院大學)	○久野マリ子	
中国文学史研究 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・京都大学)	川合康三	
中国文学史研究 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・京都大学)	川合康三	
中国文学特論 A I	(講義)				令和2年度休講
中国文学特論 B I	(講義)	兼任講師		大橋由美	
中国文学特論 A II	(講義)				令和2年度休講
中国文学特論 B II	(講義)				令和2年度休講
中国語学研究 A	(演習)				令和2年度休講
中国語学研究 B	(演習)				令和2年度休講
伝承文学史 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・慶應義塾大学)	保坂達雄	
伝承文学史 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・慶應義塾大学)	保坂達雄	
伝承文学特論 A I	(講義)	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	常光徹	
伝承文学特論 B I	(講義)	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	常光徹	
伝承文学特論 A II	(講義)				令和2年度休講
伝承文学特論 B II	(講義)				令和2年度休講
伝承文学特論 A III	(講義)	兼担教授	博士(学術・東京外国語大学)	黒澤直道	
伝承文学特論 B III	(講義)	兼担教授	博士(学術・東京外国語大学)	黒澤直道	
民俗学特論 A I	(講義)				令和2年度休講
民俗学特論 B I	(講義)				令和2年度休講
民俗学特論 A II	(講義)	兼任講師	博士(社会学・慶應義塾大学)	新谷尚紀	
民俗学特論 B II	(講義)	兼任講師	博士(社会学・慶應義塾大学)	新谷尚紀	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
民俗学特論 A III	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	関 沢 まゆみ	
民俗学特論 B III	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	関 沢 まゆみ	
民俗学特論 A IV	(講義)	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	林 承 緯	
伝統芸能特論 A I	(講義)	兼任講師		齊 藤 裕 嗣	
伝統芸能特論 B I	(講義)	兼任講師		齊 藤 裕 嗣	
伝統芸能特論 A II	(講義)				令和2年度休講
伝統芸能特論 B II	(講義)				令和2年度休講
儀礼文化研究 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	松 尾 恒 一	
儀礼文化研究 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	松 尾 恒 一	
国語教育実践研究 A	(演習)	教 授		○高山 実 佐	
国語教育実践研究 B	(演習)	教 授		○高山 実 佐	
日本語教育研究 A I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○諸 星 美智直	
日本語教育研究 B I	(演習)	教 授	博士(文学・國學院大學)	○諸 星 美智直	
日本語教育研究 A II	(演習)	教 授		○菊 地 康 人	
日本語教育研究 B II	(演習)	教 授		○菊 地 康 人	
学校文法体系論 A	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	矢 澤 真 人	
学校文法体系論 B	(講義)	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	矢 澤 真 人	
日本文学研究 A I	(講義)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○山 田 利 博	(古典)
日本文学研究 B I	(講義)	教 授	博士(文学・早稲田大学)	○山 田 利 博	(古典)
日本文学研究 A II	(講義)	兼担教授		高 橋 大 助	(現代)
日本文学研究 B II	(講義)	兼担教授		高 橋 大 助	(現代)
漢文学研究 A	(講義)	教 授		○石 本 道 明	
漢文学研究 B	(講義)	教 授		○石 本 道 明	
国語教育学研究 A	(講義)	兼任講師	博士(教育学・東京学芸大学)	眞 有 澄 香	
国語教育学研究 B	(講義)	兼任講師	博士(教育学・東京学芸大学)	眞 有 澄 香	
教科書研究 A	(講義)	兼任講師		岩 間 輝 生	
教科書研究 B	(講義)	兼任講師		岩 間 輝 生	
教育法規研究 A	(講義)	兼任講師		長 嶺 宏 作	
教育法規研究 B	(講義)	兼任講師		長 嶺 宏 作	
日本語教授法実践	(講義)	兼任講師		江 田 すみれ	
日本語教授法研究	(講義)	兼任講師		江 田 すみれ	
日本語教育教材研究 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	伊 藤 孝 行	
日本語教育教材研究 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	伊 藤 孝 行	
第二言語習得論 A	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	橋 本 ゆかり	
第二言語習得論 B	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	橋 本 ゆかり	
日本語教育文法 A	(講義)	兼任講師		北 澤 尚	
日本語教育文法 B	(講義)	兼任講師		北 澤 尚	
日本語音声学 A	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	中 川 千恵子	
日本語音声学 B	(講義)	兼任講師	博士(人文科学・お茶の水女子大学)	中 川 千恵子	
応用言語学 A	(講義)	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	宇佐美 まゆみ	
応用言語学 B	(講義)	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	宇佐美 まゆみ	
教育方法学研究 A	(講義)	兼担教授		齋 藤 智 哉	
教育方法学研究 B	(講義)	兼担教授		齋 藤 智 哉	

博士前期(修士)課程〔文学研究科 史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
史学方法論研究Ⅰ	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
史学方法論研究Ⅱ	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
日本古代史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史研究AⅡ	(演習)				令和2年度休講
日本古代史研究BⅡ	(演習)				令和2年度休講
日本古代史特論A	(講義)	兼任講師		平野卓治	
日本古代史特論B	(講義)	兼任講師		平野卓治	
日本中世史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史特論A	(講義)				令和2年度休講
日本中世史特論B	(講義)				令和2年度休講
日本近世史研究AⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	
日本近世史研究BⅠ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	
日本近世史研究AⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史研究BⅡ	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史特論AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	大友一雄	
日本近世史特論BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	大友一雄	
日本近世史特論AⅢ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	佐藤孝之	
日本近世史特論BⅢ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	佐藤孝之	
日本近現代史研究AⅠ	(演習)	兼任講師	博士(史学・上智大学)	櫻井良樹	
日本近現代史研究BⅠ	(演習)	兼任講師	博士(史学・上智大学)	櫻井良樹	
日本近現代史研究AⅡ	(演習)				令和2年度休講
日本近現代史研究BⅡ	(演習)				令和2年度休講
日本近現代史特論AⅠ	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	樋口秀実	
日本近現代史特論BⅠ	(講義)	兼担准教授	博士(歴史学・國學院大學)	手塚雄太	
日本近現代史特論A	(講義)	兼担准教授		多和田真理子	
日本近現代史特論B	(講義)	兼担准教授		多和田真理子	
宗教史料学研究A	(演習)				令和2年度休講
宗教史料学研究B	(演習)				令和2年度休講
日本史研究AⅠ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	酒寄雅志	
日本史研究BⅠ	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	酒寄雅志	
日本史研究AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・広島大学)	近藤好和	
日本史研究BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・広島大学)	近藤好和	
日本史研究AⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東北大学)	金子拓	
日本史研究BⅢ	(講義)	兼任講師	博士(文学・東北大学)	金子拓	
歴史地理学研究AⅠ	(演習)	教授		○吉田敏弘	
歴史地理学研究BⅠ	(演習)	教授		○吉田敏弘	
歴史地理学特論A	(講義)				令和2年度休講
歴史地理学特論B	(講義)				令和2年度休講
比較地誌学研究AⅠ	(演習)	教授		○林和生	
比較地誌学研究BⅠ	(演習)	教授		○林和生	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
比較地誌学特論 A	(講義)	兼任講師		松尾容孝	
比較地誌学特論 B	(講義)	兼任講師		松尾容孝	
地図学研究 A I	(演習)	教授		○吉田敏弘	
地図学研究 B I	(演習)	教授		○吉田敏弘	
地図学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・立命館大学)	下坂守	
地図学特論 B	(講義)				令和2年度休講
日本思想史特論 A	(講義)				令和2年度休講
日本思想史特論 B	(講義)				令和2年度休講
東洋史研究 A I	(演習)	客員教授		○金子修一	
東洋史研究 B I	(演習)	客員教授		○金子修一	
東洋史研究 A II	(演習)				令和2年度休講
東洋史研究 B II	(演習)				令和2年度休講
東洋史特論 A I	(講義)	兼任講師		鶴間和幸	
東洋史特論 B I	(講義)	兼任講師		鶴間和幸	
東洋史特論 A II	(講義)	兼任准教授	博士(史学・明治大学)	江川式部	
東洋史特論 B II	(講義)	兼任准教授	博士(史学・明治大学)	江川式部	
東アジア史研究 A I	(演習)				令和2年度休講
東アジア史研究 B I	(演習)				令和2年度休講
東アジア史特論 A	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・南開大学) 博士(政治学・早稲田大学)	徐顕芬	
東アジア史特論 B	(講義)				令和2年度休講
西洋史研究 A I	(演習)	兼任講師		古山正人	
西洋史研究 B I	(演習)	兼任講師		古山正人	
西洋史研究 A II	(演習)	教授		○大久保桂子	
西洋史研究 B II	(演習)	教授		○大久保桂子	
西洋史特論 A	(講義)	兼任准教授	博士(学術・東京大学)	神長英輔	
西洋史特論 B	(講義)	兼任准教授	博士(学術・東京大学)	神長英輔	
比較文化史研究 A I	(演習)				令和2年度休講
比較文化史研究 B I	(演習)				令和2年度休講
比較文化史特論 A	(講義)	兼任講師		市川裕	
比較文化史特論 B	(講義)	兼任講師		市川裕	
東洋思想史特論 A	(講義)				令和2年度休講
東洋思想史特論 B	(講義)				令和2年度休講
西洋思想史特論 A	(講義)				令和2年度休講
西洋思想史特論 B	(講義)				令和2年度休講
日本考古学研究 A I	(演習)				令和2年度休講
日本考古学研究 B I	(演習)				令和2年度休講
日本考古学特論 A	(講義)				令和2年度休講
日本考古学特論 B	(講義)	兼任講師		福尾正彦	
先史考古学研究 A I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
先史考古学研究 B I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
先史考古学研究 A II	(演習)				令和2年度休講
先史考古学研究 B II	(演習)				令和2年度休講
先史考古学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	設楽博己	
先史考古学特論 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	設楽博己	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
歴史考古学研究 A I	(演習)	客員教授		○古谷毅	
歴史考古学研究 B I	(演習)	客員教授		○古谷毅	
歴史考古学研究 A II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学研究 B II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特論 A	(講義)				令和2年度休講
歴史考古学特論 B	(講義)				令和2年度休講
外国考古学研究 A I	(演習)				令和2年度休講
外国考古学研究 B I	(演習)				令和2年度休講
外国考古学特論 A	(講義)				令和2年度休講
外国考古学特論 B	(講義)				令和2年度休講
理論考古学研究 A I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
理論考古学研究 B I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
理論考古学特論 A	(講義)				令和2年度休講
理論考古学特論 B	(講義)				令和2年度休講
環境考古学研究 A I	(演習)				令和2年度休講
環境考古学研究 B I	(演習)				令和2年度休講
環境考古学特論 A	(講義)	兼任講師	博士(史学・東京都立大学)	工藤雄一郎	
環境考古学特論 B	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	新美倫子	
民族考古学特論 A	(講義)				令和2年度休講
民族考古学特論 B	(講義)				令和2年度休講
考古学研究 A I	(演習)				令和2年度休講
考古学研究 B I	(演習)				令和2年度休講
考古学特論 A	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
考古学特論 B	(講義)	兼任講師		山崎京美	
考古学実習 A	(実習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
考古学実習 B	(実習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
美学研究 A	(演習)	客員教授	博士(文学・東京大学)	○西村清和	
美学研究 B	(演習)	客員教授	博士(文学・東京大学)	○西村清和	
美学特論 A	(講義)				令和2年度休講
美学特論 B	(講義)				令和2年度休講
美術史研究 A I	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史研究 B I	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史研究 A II	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史研究 B II	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史特論 A	(講義)				令和2年度休講
美術史特論 B	(講義)				令和2年度休講
芸術学研究 A	(演習)				令和2年度休講
芸術学研究 B	(演習)				令和2年度休講
芸術学特論 A I	(講義)	兼任講師		岩切信一郎	
芸術学特論 B I	(講義)	兼任講師		岩切信一郎	
芸術学特論 A II	(講義)				令和2年度休講
芸術学特論 B II	(講義)				令和2年度休講
比較芸術学研究 A	(演習)				令和2年度休講
比較芸術学研究 B	(演習)				令和2年度休講
比較芸術学特論 A I	(講義)	兼任講師		三宅秀和	
比較芸術学特論 B I	(講義)	兼任講師		三宅秀和	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
比較芸術学特論AⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・早稲田大学)	木川弘美	
比較芸術学特論BⅡ	(講義)	兼任講師	博士(文学・早稲田大学)	木川弘美	
芸術情報論A	(講義)	兼任准教授	博士(文学・神戸大学)	松谷容作	
芸術情報論B	(講義)	兼任准教授	博士(文学・神戸大学)	松谷容作	
資料保存展示論研究A	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木豊	
資料保存展示論研究B	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木豊	
地域博物館論研究A	(演習)	客員教授		○鷹野光行	
地域博物館論研究B	(演習)	客員教授		○鷹野光行	
博物館史特論	(講義)	客員教授		○鷹野光行	
博物館学史特論	(講義)	客員教授		○鷹野光行	
欧米博物館史特論	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・法政大学)	金山嘉昭	
博物館関係法規特論	(講義)	兼任講師		栗原祐司	
博物館資料論特論AⅠ(金工)	(講義)	兼任講師		原田一敏	
博物館資料論特論AⅡ(有職)	(講義)	兼任講師		池田宏	
博物館資料論特論BⅠ(民俗)	(講義)	教授	博士(民俗学・國學院大學)	○小川直之	
博物館資料論特論BⅡ(絵画)	(講義)	客員教授		○前川公秀	
博物館経営特論	(講義)	兼任講師		井上洋一	
博物館教育活動特論	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	駒見和夫	
展示工学特論	(講義)	兼任講師	博士(文学・早稲田大学)	山田磯夫	
博物館学専門実習AⅠ	(実習)	客員教授		○前川公秀	
博物館学専門実習BⅠ	(実習)	客員教授		○前川公秀	
博物館学専門実習AⅡ	(実習)	兼任教授		内川隆志	インターンシップ
博物館学専門実習BⅡ	(実習)	兼任教授		内川隆志	インターンシップ
史学理論特論A	(講義)	兼任講師	博士(文学・立正大学)	村井章介	
史学理論特論B	(講義)	兼任講師	博士(文学・立正大学)	村井章介	
史料学研究AⅠ	(演習)				令和2年度休講
史料学研究BⅠ	(演習)				令和2年度休講
史料学特論A	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	榎原雅治	
史料学特論B	(講義)	兼任講師	博士(文学・東京大学)	榎原雅治	
文化人類学研究AⅠ	(演習)				令和2年度休講
文化人類学研究BⅠ	(演習)				令和2年度休講
文化人類学特論A	(講義)	兼任講師	博士(文学・名古屋大学)	塩月亮子	
文化人類学特論B	(講義)	兼任講師	博士(文学・名古屋大学)	塩月亮子	
文化財学研究AⅠ	(演習)				令和2年度休講
文化財学研究BⅠ	(演習)				令和2年度休講
文化財学特論A	(講義)	兼任講師	博士(文化史学・同志社大学)	水ノ江和同	
文化財学特論B	(講義)	兼任講師		井上洋一	
社会科教育学研究A	(講義)				令和2年度休講
社会科教育学研究B	(講義)				令和2年度休講
地理科教育学研究A	(講義)				令和2年度休講
地理科教育学研究B	(講義)				令和2年度休講
歴史科教育学研究A	(講義)				令和2年度休講
歴史科教育学研究B	(講義)				令和2年度休講
史料管理学A	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	
史料管理学B	(講義)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	

博士前期(修士)課程〔法学研究科 法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
法哲学研究A	(講義)				令和2年度休講
法哲学研究B	(講義)				令和2年度休講
日本法制史研究A	(講義)	教授	博士(法学・國學院大學)	○長又高夫	
日本法制史研究B	(講義)	教授	博士(法学・國學院大學)	○長又高夫	
日本法制史研究A	(講義)				令和2年度休講
日本法制史研究B	(講義)				令和2年度休講
東洋法制史研究A	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	速水大	
東洋法制史研究B	(講義)	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	速水大	
西洋法制史研究A	(講義)	兼任講師		吉原達也	
西洋法制史研究B	(講義)	兼任講師		吉原達也	
外国法研究A	(講義)				令和2年度休講
外国法研究B	(講義)	教授		○捧剛	
外国法実践研究	(講義)	教授		○捧剛	
憲法研究A	(講義)				令和2年度休講
憲法研究B	(講義)	教授		○植村勝慶	
憲法実践研究	(講義)	教授		○植村勝慶	
憲法研究A	(講義)	教授		○平地秀哉	
憲法研究B	(講義)				令和2年度休講
憲法実践研究	(講義)	教授		○平地秀哉	
行政法研究A	(講義)				令和2年度休講
行政法研究B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○高橋信行	
行政法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○高橋信行	
行政法研究A	(講義)	教授		○川合敏樹	
行政法研究B	(講義)				令和2年度休講
行政法実践研究	(講義)	教授		○川合敏樹	
国際法研究A	(講義)	教授		○宮内靖彦	
国際法研究B	(講義)				令和2年度休講
国際法実践研究	(講義)	教授		○宮内靖彦	
刑法研究A	(講義)	教授	博士(法学・早稲田大学)	○関哲夫	
刑法研究B	(講義)				令和2年度休講
刑法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・早稲田大学)	○関哲夫	
刑法研究A	(講義)				令和2年度休講
刑法研究B	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○甘利航司	
刑法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○甘利航司	
刑事訴訟法研究A	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○中川孝博	
刑事訴訟法研究B	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○中川孝博	
刑事政策研究A	(講義)	兼任准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安田恵美	
刑事政策研究B	(講義)	兼任准教授	博士(法学・大阪市立大学)	安田恵美	
民法研究A	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○佐藤秀勝	
民法研究B	(講義)				令和2年度休講
民法実践研究	(講義)	教授	博士(法学・一橋大学)	○佐藤秀勝	
民法研究A	(講義)				令和2年度休講
民法研究B	(講義)				令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
民法研究 A	(講義)	教授		○門 広 乃里子	
民法研究 B	(講義)	教授		○門 広 乃里子	
民法実践研究	(講義)	教授		○門 広 乃里子	
民法研究 A	(講義)	兼任准教授		姫野 学 郎	
民法研究 B	(講義)	兼任准教授		姫野 学 郎	
民法研究 A	(講義)				令和2年度休講
民法研究 B	(講義)	教授		○一 木 孝 之	
民法実践研究	(講義)	教授		○一 木 孝 之	
民事訴訟法研究 A	(講義)	教授		○佐古田 真紀子	
民事訴訟法研究 B	(講義)	教授		○佐古田 真紀子	
商法研究 A	(講義)				令和2年度休講
商法研究 B	(講義)	教授		○鈴木 達 次	
商法実践研究	(講義)	教授		○鈴木 達 次	
商法研究 A	(講義)	教授		○森 川 隆	
商法研究 B	(講義)	教授		○森 川 隆	
労働法研究 A	(講義)	教授		○本 久 洋 一	
労働法研究 B	(講義)				令和2年度休講
労働法実践研究	(講義)	教授		○本 久 洋 一	
国際私法研究 A	(講義)				令和2年度休講
国際私法研究 B	(講義)				令和2年度休講
政治学研究 A	(講義)	客員教授		○永 森 誠 一	
政治学研究 B	(講義)	客員教授		○永 森 誠 一	
政治学研究 A	(講義)	兼任准教授		宮 下 大 志	
政治学研究 B	(講義)	兼任准教授		宮 下 大 志	
政治学研究 A	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○上 神 貴 佳	
政治学研究 B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○上 神 貴 佳	
政治学研究 A	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤 嶋 亮	
政治学研究 B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤 嶋 亮	
政治学実践研究	(講義)				令和2年度休講
行政学研究 A	(講義)	兼任准教授	博士(政治学・東京都立大学)	稲 垣 浩	
行政学研究 B	(講義)	兼任准教授	博士(政治学・東京都立大学)	稲 垣 浩	
西洋政治史研究 A	(講義)				令和2年度休講
西洋政治史研究 B	(講義)				令和2年度休講
日本政治史研究 A	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○坂 本 一 登	
日本政治史研究 B	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○坂 本 一 登	
西洋政治思想史研究 A	(講義)	教授		○荻 田 真 司	
西洋政治思想史研究 B	(講義)	教授		○荻 田 真 司	
日本政治思想史研究 A	(講義)	兼任准教授		小 原 薫	
日本政治思想史研究 B	(講義)	兼任准教授		小 原 薫	
国際関係史研究 A	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川 嶋 周 一	
国際関係史研究 B	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川 嶋 周 一	
国際政治研究 A	(講義)	兼任講師		磯 村 早 苗	
国際政治研究 B	(講義)	兼任講師		磯 村 早 苗	
公共政策演習	(演習)	兼任講師		木 下 毅 彦	
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
キャリア・プランニング	(演習)	兼任講師		沢田登志子	
研究指導 A				専任教授全員	
研究指導 B				専任教授全員	
論文指導演習 A	(演習)			専任教授全員	
論文指導演習 B	(演習)			専任教授全員	

博士前期(修士)課程〔経済学研究科 経済学専攻〕

注1) ○印を付した教員は、令和2年度の研究指導担当者(指導教員)

注2) 各コース共通：1年次前期に「研究方法と倫理」を履修すること、それぞれ当該の列に★印を付した授業科目の中から12単位以上を修得すること、1年次は「研究指導」、2年次は「論文指導演習」を履修すること。

注3) キャリアコース：1年次後期に「税務特講」を履修すること

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	選択コース		備考
					アカデミック	キャリア	
理論経済学特論A I	(講義)	教授	博士(経済学・一橋大学)	細谷 圭	★	★	
理論経済学特論B I	(講義)	教授	博士(経済学・一橋大学)	細谷 圭	★	★	
理論経済学特論A II	(講義)				★	★	令和2年度休講
理論経済学特論B II	(講義)				★	★	令和2年度休講
経済学史特論A I	(講義)				★		令和2年度休講
経済学史特論B I	(講義)	教授		尾近 裕幸	★		
貨幣金融特論A I	(講義)				★	★	令和2年度休講
貨幣金融特論B I	(講義)				★	★	令和2年度休講
貨幣金融特論A II	(講義)				★	★	令和2年度休講
貨幣金融特論B II	(講義)	教授		土田 壽孝	★	★	
財政学特論A I	(講義)						令和2年度休講
財政学特論B I	(講義)						令和2年度休講
財政学特論A II	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	根岸 毅宏	★	★	
財政学特論B II	(講義)				★	★	令和2年度休講
経済政策特論A I	(講義)				★		令和2年度休講
経済政策特論B I	(講義)	教授		橋元 秀一	★		
経済政策特論A II	(講義)				★		令和2年度休講
経済政策特論B II	(講義)				★		令和2年度休講
経済政策特論A III	(講義)				★		令和2年度休講
経済政策特論B III	(講義)				★		令和2年度休講
経済政策特論A IV	(講義)	教授	博士(理学・東北大学)	山本 健太	★		
経済政策特論B IV	(講義)				★		令和2年度休講
国際経済特論A I	(講義)				★		令和2年度休講
国際経済特論B I	(講義)	教授		高橋 克秀	★		
国際経済特論A II	(講義)	教授		中馬 祥子	★		
国際経済特論B II	(講義)				★		令和2年度休講
国際経済特論A III	(講義)				★		令和2年度休講
国際経済特論B III	(講義)	教授	博士(経営学・立命館大学)	細井 長	★		
社会政策特論A I	(講義)	教授		水無田 気流	★		
社会政策特論B I	(講義)				★		令和2年度休講
社会政策特論A II	(講義)				★		令和2年度休講
社会政策特論B II	(講義)	教授		中泉 真樹	★		
社会政策特論A III	(講義)				★		令和2年度休講
社会政策特論B III	(講義)				★		令和2年度休講
社会政策特論A IV	(講義)	教授	博士(学術・東京大学)	田原 裕子	★		
社会政策特論B IV	(講義)				★		令和2年度休講
社会政策特論A V	(講義)	教授	博士(経済学・大阪市立大学)	大西 祥恵	★		
社会政策特論B V	(講義)				★		令和2年度休講
統計学特論A	(講義)	教授		高橋 克秀	★	★	アカデミックコース選択必修
統計学特論B	(講義)				★		令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	選択コース		備考
					アカデミック	キャリア	
経済史特論 A I	(講義)				★		令和2年度休講
経済史特論 B I	(講義)	教授	博士(経済学・東京大学)	杉山里枝	★		
経済史特論 A II	(講義)	准教授		尾崎麻弥子	★		
経済史特論 B II	(講義)				★		令和2年度休講
計量経済学特論 A	(講義)	准教授		高木康順	★		
計量経済学特論 B	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 A I	(講義)	教授	博士(経営学・法政大学)	本田一成	★	★	アカデミックコース選択必修
経営学特論 B I	(講義)	教授	博士(経営学・法政大学)	本田一成	★	★	
経営学特論 A II	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 B II	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 A III	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 B III	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 A IV	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 B IV	(講義)	教授		野村一夫	★		
経営学特論 A V	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 B V	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	小野正人	★		
経営学特論 A VI	(講義)				★		令和2年度休講
経営学特論 B VI	(講義)	教授	博士(経営学・東北大学)	星野広和	★		
経営学特論 A VII	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	宮下雄治	★		
経営学特論 B VII	(講義)				★		令和2年度休講
会計学特論 A I	(講義)				★	★	令和2年度休講
会計学特論 B I	(講義)	准教授		東海林孝一	★	★	
会計学特論 A II	(講義)				★	★	令和2年度休講
会計学特論 B II	(講義)				★	★	令和2年度休講
会計学特論 A III	(講義)				★	★	令和2年度休講
会計学特論 B III	(講義)	准教授		中田有祐	★	★	
経営史特論 A	(講義)						令和2年度休講
経営史特論 B	(講義)						令和2年度休講
税務特論 A I	(講義)	教授		佐藤謙一		★	
税務特論 B I	(講義)	教授		佐藤謙一		★	
税務特論 A II	(講義)	客員教授		藤村和男		★	
税務特論 B II	(講義)	客員教授		藤村和男		★	
税務特論 A III	(講義)	客員教授		田内彦一郎		★	
税務特論 B III	(講義)	客員教授		田内彦一郎		★	
税法総論 A	(講義)	兼任講師		渡辺充		★	
税法総論 B	(講義)	兼任講師		渡辺充		★	
税務特講	(講義)	客員教授		藤村和男			コース必修
研究方法と倫理 I	(講義)	教授		野村一夫	必修		
研究方法と倫理 II	(講義)	教授		佐藤謙一		必修	
研究指導 A				専任教員全員			1年次
研究指導 B				専任教員全員			1年次
論文指導演習 A	(演習)			専任教員全員			2年次
論文指導演習 B	(演習)			専任教員全員			2年次

博士後期(博士)課程〔文学研究科 神道学・宗教学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
神道神学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	
神道神学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○西岡和彦	
神道神学特殊研究A II	(演習)				令和2年度休講
神道神学特殊研究B II	(演習)				令和2年度休講
神道史特殊研究A I	(演習)	客員教授	博士(歴史学・國學院大學)	岡田莊司	
神道史特殊研究B I	(演習)	客員教授	博士(歴史学・國學院大學)	岡田莊司	
神道史特殊研究A II	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	
神道史特殊研究B II	(演習)	教授	博士(神道学・國學院大學)	○武田秀章	
神社史特殊研究A	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
神社史特殊研究B	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○笹生衛	
祭祀特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
祭祀特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
神道古典特殊研究A	(演習)	兼任教授	博士(神道学・國學院大學)	松本久史	
神道古典特殊研究B	(演習)	兼任教授	博士(神道学・國學院大學)	松本久史	
宗教学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	
宗教学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○遠藤潤	
宗教学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○石井研士	
宗教学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○石井研士	
宗教社会学特殊研究A I	(演習)	客員教授	博士(宗教学・國學院大學)	井上順孝	
宗教社会学特殊研究B I	(演習)	客員教授	博士(宗教学・國學院大學)	井上順孝	
宗教社会学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	
宗教社会学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(宗教学・國學院大學)	○黒崎浩行	
宗教行政特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
宗教行政特殊研究B	(演習)				令和2年度休講

博士後期(博士)課程〔文学研究科 文学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本上代文学特殊研究A I	(演習)				令和2年度休講
日本上代文学特殊研究B I	(演習)				令和2年度休講
日本上代文学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○谷口雅博	
日本上代文学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○谷口雅博	
日本中古文学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○針本正行	
日本中古文学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○針本正行	
日本中古文学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(文学・早稲田大学)	○山田利博	
日本中古文学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(文学・早稲田大学)	○山田利博	
日本中古文学特殊研究A III	(演習)				令和2年度休講
日本中古文学特殊研究B III	(演習)				令和2年度休講
日本中世文学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・早稲田大学)	○野中哲照	
日本中世文学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・早稲田大学)	○野中哲照	
日本近世文学特殊研究A I	(演習)				令和2年度休講
日本近世文学特殊研究B I	(演習)				令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本近現代文学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○石川 則 夫	
日本近現代文学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○石川 則 夫	
日本近現代文学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○井上 明 芳	
日本近現代文学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○井上 明 芳	
日本古代語特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○小田 勝	
日本古代語特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○小田 勝	
日本古代語特殊研究A II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○吉田 永 弘	
日本古代語特殊研究B II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○吉田 永 弘	
日本近代語特殊研究A	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本近代語特殊研究B	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本現代語特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
日本現代語特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
中国文学特殊研究A I	(演習)	教授		○石本 道 明	
中国文学特殊研究B I	(演習)	教授		○石本 道 明	
中国文学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○赤井 益 久	
中国文学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○赤井 益 久	
中国文学特殊研究A III	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○浅野 春 二	
中国文学特殊研究B III	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○浅野 春 二	
中国文学特殊研究A IV	(演習)	教授		○宮内 克 浩	
中国文学特殊研究B IV	(演習)	教授		○宮内 克 浩	
伝承文学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○花部 英 雄	
伝承文学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○花部 英 雄	
伝承文学特殊研究A II	(演習)	准教授	博士(文学・國學院大學)	○飯倉 義 之	
伝承文学特殊研究B II	(演習)	准教授	博士(文学・國學院大學)	○飯倉 義 之	
伝統芸能特殊研究A	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○大石 泰 夫	
伝統芸能特殊研究B	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○大石 泰 夫	
民俗学特殊研究A I	(演習)	准教授	博士(民俗学・國學院大學)	○服部 比呂美	
民俗学特殊研究B I	(演習)	准教授	博士(民俗学・國學院大學)	○服部 比呂美	
民俗学特殊研究A II	(演習)	教授	博士(民俗学・國學院大學)	○小川 直 之	
民俗学特殊研究B II	(演習)	教授	博士(民俗学・國學院大學)	○小川 直 之	
民俗学特殊研究A III	(演習)				令和2年度休講
民俗学特殊研究B III	(演習)				令和2年度休講
国語教育実践特殊研究A	(演習)	教授		○高山 実 佐	
国語教育実践特殊研究B	(演習)	教授		○高山 実 佐	
日本語教育特殊研究A I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本語教育特殊研究B I	(演習)	教授	博士(文学・國學院大學)	○諸星 美智直	
日本語教育特殊研究A II	(演習)	教授		○菊地 康 人	
日本語教育特殊研究B II	(演習)	教授		○菊地 康 人	

博士後期(博士)課程〔文学研究科 史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
日本古代史特殊研究A I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史特殊研究B I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○佐藤長門	
日本古代史特殊研究A II	(演習)				令和2年度休講
日本古代史特殊研究B II	(演習)				令和2年度休講
日本中世史特殊研究A I	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史特殊研究B I	(演習)	教授	博士(史学・学習院大学)	○高橋秀樹	
日本中世史特殊研究A II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本中世史特殊研究B II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○矢部健太郎	
日本近世史特殊研究A I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	
日本近世史特殊研究B I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○根岸茂夫	
日本近世史特殊研究A II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近世史特殊研究B II	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○吉岡孝	
日本近現代史特殊研究A I	(演習)	兼任講師	博士(史学・上智大学)	櫻井良樹	
日本近現代史特殊研究B I	(演習)	兼任講師	博士(史学・上智大学)	櫻井良樹	
日本近現代史特殊研究A II	(演習)				令和2年度休講
日本近現代史特殊研究B II	(演習)				令和2年度休講
宗教史料学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
宗教史料学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
歴史地理学特殊研究A	(演習)	教授		○吉田敏弘	
歴史地理学特殊研究B	(演習)	教授		○吉田敏弘	
比較地誌学特殊研究A	(演習)	教授		○林和生	
比較地誌学特殊研究B	(演習)	教授		○林和生	
地図学特殊研究A	(演習)	教授		○吉田敏弘	
地図学特殊研究B	(演習)	教授		○吉田敏弘	
東洋史特殊研究A I	(演習)	客員教授		○金子修一	
東洋史特殊研究B I	(演習)	客員教授		○金子修一	
東洋史特殊研究A II	(演習)				令和2年度休講
東洋史特殊研究B II	(演習)				令和2年度休講
東アジア史特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
東アジア史特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
西洋史特殊研究A I	(演習)				令和2年度休講
西洋史特殊研究B I	(演習)				令和2年度休講
西洋史特殊研究A II	(演習)	教授		○大久保桂子	
西洋史特殊研究B II	(演習)	教授		○大久保桂子	
比較文化史特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
比較文化史特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
日本考古学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
日本考古学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
先史考古学特殊研究A I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
先史考古学特殊研究B I	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○谷口康浩	
先史考古学特殊研究A II	(演習)				令和2年度休講
先史考古学特殊研究B II	(演習)				令和2年度休講
歴史考古学特殊研究A I	(演習)	客員教授		○古谷毅	
歴史考古学特殊研究B I	(演習)	客員教授		○古谷毅	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
歴史考古学特殊研究AⅡ		教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
歴史考古学特殊研究BⅡ		教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木敬	
外国考古学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
外国考古学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
考古学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
考古学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
美学特殊研究A	(演習)	客員教授	博士(文学・東京大学)	○西村清和	
美学特殊研究B	(演習)	客員教授	博士(文学・東京大学)	○西村清和	
美術史特殊研究AⅠ	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史特殊研究BⅠ	(演習)	教授		○小池寿子	
美術史特殊研究AⅡ	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
美術史特殊研究BⅡ	(演習)	教授	博士(哲学・学習院大学)	○藤澤紫	
比較芸術学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
比較芸術学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
芸術学特殊研究A	(演習)				令和2年度休講
芸術学特殊研究B	(演習)				令和2年度休講
資料保存展示論特殊研究A	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木豊	
資料保存展示論特殊研究B	(演習)	教授	博士(歴史学・國學院大學)	○青木豊	
地域博物館論特殊研究A	(演習)	客員教授		○鷹野光行	
地域博物館論特殊研究B	(演習)	客員教授		○鷹野光行	
博物館学特殊実習A	(実習)	客員教授		○前川公秀	
博物館学特殊実習B	(実習)	客員教授		○前川公秀	

博士後期(博士)課程〔法学研究科 法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
法哲学研究 A	(講義)				令和2年度休講
法哲学研究 B	(講義)				令和2年度休講
日本法制史研究 A	(講義) 教 授	博士(法学・國學院大學)		○長 又 高 夫	
日本法制史研究 B	(講義) 教 授	博士(法学・國學院大學)		○長 又 高 夫	
日本法制史研究 A	(講義)				令和2年度休講
日本法制史研究 B	(講義)				令和2年度休講
東洋法制史研究 A	(講義) 兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)		速 水 大	
東洋法制史研究 B	(講義) 兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)		速 水 大	
西洋法制史研究 A	(講義) 兼 任 講 師			吉 原 達 也	
西洋法制史研究 B	(講義) 兼 任 講 師			吉 原 達 也	
外国法実践研究	(講義) 教 授			○捧 剛	
外国法研究 B	(講義) 教 授			○捧 剛	
憲法研究 A	(講義)				令和2年度休講
憲法研究 B	(講義) 教 授			○植 村 勝 慶	
憲法実践研究				○植 村 勝 慶	
憲法研究 A	(講義) 教 授			○平 地 秀 哉	
憲法研究 B	(講義) 教 授				令和2年度休講
憲法実践研究				○平 地 秀 哉	
行政法研究 A	(講義)				令和2年度休講
行政法研究 B	(講義) 教 授	博士(法学・東京大学)		○高 橋 信 行	
行政法実践研究	(講義) 教 授	博士(法学・東京大学)		○高 橋 信 行	
行政法研究 A	(講義) 教 授			○川 合 敏 樹	
行政法研究 B	(講義)				令和2年度休講
行政法実践研究	(講義) 教 授			○川 合 敏 樹	
国際法研究 A	(講義) 教 授			○宮 内 靖 彦	
国際法研究 B	(講義)				令和2年度休講
国際法実践研究	(講義) 教 授			○宮 内 靖 彦	
刑法研究 A	(講義) 教 授	博士(法学・早稲田大学)		○関 哲 夫	
刑法研究 B	(講義)				令和2年度休講
刑法実践研究	(講義) 教 授	博士(法学・早稲田大学)		○関 哲 夫	
刑法研究 A	(講義)				令和2年度休講
刑法研究 B	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○甘 利 航 司	
刑法実践研究	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○甘 利 航 司	
刑事訴訟法研究 A	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○中 川 孝 博	
刑事訴訟法研究 B	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○中 川 孝 博	
刑事政策研究 A	(講義) 兼担准教授	博士(法学・大阪市立大学)		安 田 恵 美	
刑事政策研究 B	(講義) 兼担准教授	博士(法学・大阪市立大学)		安 田 恵 美	
民法研究 A	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○佐 藤 秀 勝	
民法研究 B	(講義)				令和2年度休講
民法実践研究	(講義) 教 授	博士(法学・一橋大学)		○佐 藤 秀 勝	
民法研究 A	(講義)				令和2年度休講
民法研究 B	(講義)				令和2年度休講
民法研究 A	(講義) 教 授			○門 広 乃 里 子	
民法研究 B	(講義)				令和2年度休講
民法実践研究	(講義) 教 授			○門 広 乃 里 子	

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
民法研究 A	(講義)	兼任准教授		姫野学郎	
民法研究 B	(講義)	兼任准教授		姫野学郎	
民法研究 A	(講義)				令和2年度休講
民法研究 B	(講義)	教授		○一木孝之	
民法実践研究	(講義)	教授		○一木孝之	
民事訴訟法研究 A	(講義)	教授		○佐古田真紀子	
民事訴訟法研究 B	(講義)	教授		○佐古田真紀子	
商法研究 A	(講義)				令和2年度休講
商法研究 B	(講義)	教授		○鈴木達次	
商法実践研究	(講義)	教授		○鈴木達次	
商法研究 A	(講義)	教授		○森川隆	
商法研究 B	(講義)	教授		○森川隆	
労働法研究 A	(講義)	教授		○本久洋一	
労働法実践研究	(講義)	教授		○本久洋一	
国際私法研究 A	(講義)				令和2年度休講
国際私法研究 B	(講義)				令和2年度休講
政治学研究 A	(講義)	客員教授		○永森誠一	
政治学研究 B	(講義)	客員教授		○永森誠一	
政治学研究 A	(講義)	兼任准教授		宮下大志	
政治学研究 B	(講義)	兼任准教授		宮下大志	
政治学研究 A	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○上神貴佳	
政治学研究 B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○上神貴佳	
政治学研究 A	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤嶋亮	
政治学研究 B	(講義)	教授	博士(法学・東京大学)	○藤嶋亮	
行政学研究 A	(講義)	兼任准教授	博士(政治学・東京都立大学)	稲垣浩	
行政学研究 B	(講義)	兼任准教授	博士(政治学・東京都立大学)	稲垣浩	
西洋政治史研究 A	(講義)				令和2年度休講
西洋政治史研究 B	(講義)				令和2年度休講
日本政治史研究 A	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○坂本一登	
日本政治史研究 B	(講義)	教授	法学博士(東京都立大学)	○坂本一登	
西洋政治思想史研究 A	(講義)	教授		○荻田真司	
西洋政治思想史研究 B	(講義)	教授		○荻田真司	
日本政治思想史研究 A	(講義)	兼任准教授		小原薫	
日本政治思想史研究 B	(講義)	兼任准教授		小原薫	
国際関係史研究 A	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川嶋周一	
国際関係史研究 B	(講義)	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	川嶋周一	
国際政治研究 A	(講義)	兼任講師		磯村早苗	
国際政治研究 B	(講義)	兼任講師		磯村早苗	
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 A	(演習)				令和2年度休講
法律学特殊研究 B	(演習)				令和2年度休講

博士後期(博士)課程〔経済学研究科 経済学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和2年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
理論経済学研究 A I	(講義)	教授	博士(経済学・一橋大学)	細谷 圭	
理論経済学研究 B I	(講義)	教授	博士(経済学・一橋大学)	細谷 圭	
理論経済学研究 A II	(講義)				令和2年度休講
理論経済学研究 B II	(講義)				令和2年度休講
経済学史研究 A I	(講義)				令和2年度休講
経済学史研究 B I	(講義)	教授		尾近 裕幸	
貨幣金融研究 A I	(講義)				令和2年度休講
貨幣金融研究 B I	(講義)				令和2年度休講
貨幣金融研究 A II	(講義)				令和2年度休講
貨幣金融研究 B II	(講義)	教授		土田 壽孝	
財政学研究 A I	(講義)				令和2年度休講
財政学研究 B I	(講義)				令和2年度休講
財政学研究 A II	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	根岸 毅宏	
財政学研究 B II	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 A I	(講義)	教授		橋元 秀一	
経済政策研究 B I	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 A II	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 B II	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 A III	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 B III	(講義)				令和2年度休講
経済政策研究 A IV	(講義)	教授	博士(理学・東北大学)	山本 健太	
経済政策研究 B IV	(講義)				令和2年度休講
国際経済研究 A I	(講義)				令和2年度休講
国際経済研究 B I	(講義)	教授		高橋 克秀	
国際経済研究 A II	(講義)	教授		中馬 祥子	
国際経済研究 B II	(講義)				令和2年度休講
国際経済研究 A III	(講義)				令和2年度休講
国際経済研究 B III	(講義)	教授	博士(経営学・立命館大学)	細井 長	
社会政策研究 A I	(講義)	教授		水無田 気流	
社会政策研究 B I	(講義)				令和2年度休講
社会政策研究 A II	(講義)				令和2年度休講
社会政策研究 B II	(講義)	教授		中泉 真樹	
社会政策研究 A III	(講義)				令和2年度休講
社会政策研究 B III	(講義)				令和2年度休講
社会政策研究 A IV	(講義)	教授	博士(学術・東京大学)	田原 裕子	
社会政策研究 B IV	(講義)				令和2年度休講
社会政策研究 A V	(講義)	教授	博士(経済学・大阪市立大学)	大西 祥恵	
社会政策研究 B V	(講義)				令和2年度休講
統計学研究 A	(講義)				令和2年度休講
統計学研究 B	(講義)				令和2年度休講
経済史研究 A I	(講義)				令和2年度休講
経済史研究 B I	(講義)				令和2年度休講
経済史研究 A II	(講義)	准教授		尾崎 麻弥子	
経済史研究 B II	(講義)				令和2年度休講

令和2年度授業科目	区分	職名	学位	教員名	備考
計量経済学研究 A	(講義)	准教授		高木康順	
計量経済学研究 B	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 A I	(講義)	教授	博士(経営学・法政大学)	本田一成	
経営学研究 B I	(講義)	教授	博士(経営学・法政大学)	本田一成	
経営学研究 A II	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 B II	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 A III	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 B III	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 A IV	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 B IV	(講義)	教授		野村一夫	
経営学研究 A V	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 B V	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	小野正人	
経営学研究 A VI	(講義)				令和2年度休講
経営学研究 B VI	(講義)	教授	博士(経営学・東北大学)	星野広和	
経営学研究 A VII	(講義)	教授	博士(経済学・國學院大學)	宮下雄治	
経営学研究 B VII	(講義)				令和2年度休講
会計学研究 A I	(講義)				令和2年度休講
会計学研究 B I	(講義)	准教授		東海林孝一	
会計学研究 A II	(講義)				令和2年度休講
会計学研究 B II	(講義)				令和2年度休講
会計学研究 A III	(講義)				令和2年度休講
会計学研究 B III	(講義)	准教授		中田有祐	
経営史研究 A	(講義)				令和2年度休講
経営史研究 B	(講義)				令和2年度休講

[A票]

令和3年度
國學院大學大学院入学志願票
(博士前期課程)

Table with columns for 時期 (Season), 区分 (Category), 研究科 (Department), and 専攻 (Specialization).

*各項目いずれかを○で囲むこと
*必ずコース・分野を記入のこと

Personal information form including 入試コード (Application Code), フリガナ (Kana Name), 氏名 (Name), 生年月日 (Date of Birth), 現住所 (Current Address), 緊急連絡先 (Emergency Contact), and 学歴 (Education History).



《検定料の納入方法》

いずれかに☑を付すこと

- ☐ 金融機関を利用
☐ 証明書自動発行機を利用

収納印 1 / 3

(金融機関収納印または、大学院事務課受付印)

銀行等取扱店で切り離してください。

【選択受験科目】

1. 外国語

いずれかを○で囲むこと。

Table for foreign language selection: 英語, 独語, 中国語, 仏語, 日本語.

2. 文学研究科 一般入試・外国人入試志願者

下表に該当する者は、受験科目を○で囲むこと。

Table for literature department exam subjects including 専攻 (Department), コース (Course), 時限 (Duration), and 選択受験科目 (Selected Exam Subjects).

3. 法学研究科 一般入試・外国人入試志願者

- ①P.11「別表1」より、専門科目(必須)1科目を記入すること。
②専門科目(選択)を外国語試験以外で受験の場合、1科目を○で囲む。

Table for law department exam subjects with columns for 分野 (Field), ①必須 (Required), ②選択 (Optional), and ③外国語試験受験の有無 (Foreign Language Exam Status).

4. 経済学研究科 一般入試・外国人入試志願者

選択受験科目 1科目を○で囲むこと。
キャリアコース希望者は「会計学」に○をしてください。

Table for economics department exam subjects: 経済学, 経営学, 会計学.

所定用紙①

[B票]

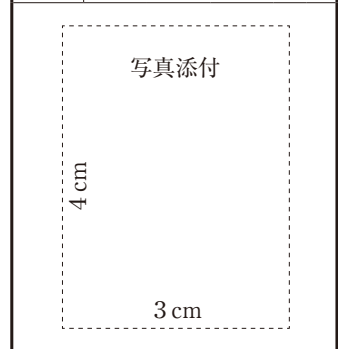
令和3年度
國學院大學大学院受験票
(博士前期課程)

Table with columns for 時期 (Season), 区分 (Category), and 専攻 (Specialization).

各項目いずれかを○で囲むこと

Form for 専攻 (Specialization) and コース・分野 (Course/Field).

Personal information form including 入試コード (Application Code), 受験番号 (Exam Number), フリガナ (Kana Name), 氏名 (Name), 生年月日 (Date of Birth).



國學院大學 大学院事務課

所在地 渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0142

- ①受験票を持参しない者は試験場に入場できない。
②試験場では受験票を机上に提示すること。

所定用紙①

出願時に本人が切り離してください。

[D票]

電信扱 振込依頼書 (取扱店保存)

〈令和3年度検定料〉

Table for 科目 (Subject) and 手数料 (Fee).

Form for remittance request including 依頼日 (Request Date), 先方銀行 (Beneficiary Bank), 金額 (Amount), 受取人 (Receiver), and 口座名 (Account Name).

取扱銀行へのお願い

- 1. A・C・D票(3箇所)に正確に押印のうえ、A~C票を依頼人に返却してください。
2. 手数料は指定銀行の場合、とりまとめ店扱い、その他の銀行は本人払いです。
3. 入試コード・受験者氏名の順番で打電してください。

銀行等取扱店で切り離してください。

《令和3年度検定料》

収納印 3 / 3

所定用紙①

[C票]

振込金兼手数料受領書 本人控

Form for remittance receipt including 依頼日 (Request Date), 先方銀行 (Beneficiary Bank), 金額 (Amount), 手数料 (Fee), 受取人 (Receiver), and 入試コード (Application Code).

上記のとおり領収しました。國學院大學

収納印 2 / 3

所定用紙①

[A票]

令和3年度
國學院大學大学院入学志願票
(博士後期課程)

Table with columns: 時期, 区分, 研究科, 専攻, コース・分野. Includes options for 秋季, 春季, 一般, 外国人, 社会人, 再入学, 文学, 法学, 経済学, 神道学, 宗教学, 文学, 史学, 法律学, 経済学.

※各項目いずれかを○で囲むこと
※必ずコース・分野を記入のこと

文学研究科 一般入試・外国人入試

下表に該当する者は、受験科目を○で囲むこと。

Table with columns: 専攻, コース, 時限, 選択受験科目. Lists subjects like 神道学・宗教学, 文学 高度国語・日本語教育, 史学 外国史学.

法学研究科

一般入試・外国人入試

いずれかを○で囲むこと。

Table with columns: 英語, 独語, 仏語, 史料解説.

Application form fields: 入試コード, フリガナ, 氏名, 生年月日, 現住所, 緊急連絡先, 学歴.



《検定料の納入方法》

- いづれかに☑を付すこと
 金融機関を利用
 証明書自動発行機を利用

収納印 1 / 3

(金融機関収納印または大学院事務課受付印)

所定用紙②

[B票]

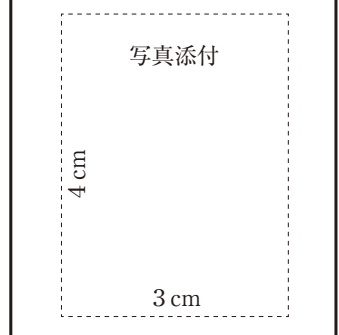
令和3年度
國學院大學大学院受験票
(博士後期課程)

Table with columns: 時期, 区分, 研究科, 専攻. Includes options for 秋季, 春季, 一般, 外国人, 社会人, 再入学, 文学, 法学, 経済学, 神道学, 宗教学, 文学, 史学, 法律学, 経済学.

各項目いずれかを○で囲むこと

Course and field selection box (コース・分野).

Applicant information fields: 入試コード, 受験番号, フリガナ, 氏名, 生年月日.



國學院大學 大学院事務課
所在地 渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0142

- ①受験票を持参しない者は試験場に入場できない。
②試験場では受験票を机上に提示すること。

切り離さないでください。

所定用紙②

[D票]

電信振込 振込依頼書 (取扱店保存)

〈令和3年度検定料〉

Table with columns: 科目, 金額.

Remittance request form fields: 依頼日, 先方銀行, 金額, 手数料, 受取人, 口座名, 入試コード.

取扱銀行へのお願い

- 1. A・C・D票 (3箇所) に正確に押印のうえ、A～C票を依頼人に返却してください
2. 手数料は指定銀行の場合、とりまとめ店扱い、その他の銀行は本人払いです
3. 入試コード・受験者氏名の順番で打電してください

銀行等取扱店で切り離してください。

《令和3年度検定料》

収納印 3 / 3

所定用紙②

[C票]

振込金兼手数料受領書 本人控

Receipt form fields: 依頼日, 先方銀行, 金額, 手数料, 受取人, 入試コード, 受験者氏名.

上記のとおり領収しました。國學院大學

収納印 2 / 3

所定用紙②



國學院大學大学院 入学試験 口述調査書

(記載上の注意)

- ※印欄は記入しないこと。
- 外国籍の者は氏名のフリガナ欄は本国の発音で表記、英字欄にはパスポートのアルファベット表記を記載すること。

※各項目いずれかを○で囲むこと
※コース・分野を記入のこと

時期	区分	課程	研究科	専攻	コース・分野	フリガナ	漢字	英字 (外国人)	男 ・ 女	写真貼付位置 4cm 3cm
秋季	一般	前期	文学	神学・宗教学						
春季	外国人	後期	法学	文学						
	学内成績		経済学	史学						
	学内論文			法律学						
	社会人			経済学						

入試コード	受験番号
	※

氏名	昭和・平成 年 月 日生(歳)
	(西暦 年)

連絡先	(〒 -) Mail: (TEL)									
出身学校	大学	学部	学科	(西暦 年)	昭和・平成・令和	年	月	日	入学	
	大学院	研究科	専攻	(西暦 年)	昭和・平成・令和	年	月	日	卒業・修了	卒業・修了見込
	大学	学部	学科	(西暦 年)	昭和・平成・令和	年	月	日	入学	
	大学院	研究科	専攻	(西暦 年)	昭和・平成・令和	年	月	日	卒業・修了	卒業・修了見込
学部在学中の課外活動	学術部門	運動部門				社会部門 (ボランティア等)				
卒業論文・修士論文・研究業績書	提出した (見込みを含む)	論文題目				審査 大学名				
	必要なかった					論文指導 教員名				
上記提出物の要旨	----- ----- -----									
学部で専門ゼミナールを受講していた場合	受講をした・しない	主題				主たる内容				
	期間	昭和 平成 令和	年(西暦 年)	月	昭和 平成 令和	年(西暦 年)	月	ゼミナール 指導教授		
大学院進学理由及び進路希望 (具体的に)	----- ----- ----- -----									

裏面へ続く

※面接者		※評価		※評価		※備考	
------	--	-----	--	-----	--	-----	--

表面から続く

職歴	(会社名等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日入社 (西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日退社
	(会社名等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日入社 (西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日退社
	(会社名等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日入社 (西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日退社

研究歴	(研究機関等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日から
	(研究内容等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日まで
	(研究機関等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日から
	(研究内容等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日まで
	(研究機関等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日から
	(研究内容等)	(西暦 年) 昭和・平成・令和 年 月 日まで

授与・ 単位修得 (含見込)	教員免許状	中学専修・高校専修 中学1種・高校1種 中学1級・高校2級	国語・社会・地理歴史・公民 書道・商業・()・()	単位修得大学	専修免許状 の授与希望 の有無	有・無
	資格	博物館学芸員、社会教育主事、図書館司書、図書館司書教諭				
現在の職業 (具体的に)				定職 アルバイト (期間 年 月～ 年 月)		
学費出処						
保証人	氏名			勤務先		
	本人との続柄					
	現住所	(〒 -) (TEL)	所在地		(〒 -) (TEL)	

※保証人は日本国内の在住者とする。

入試コード				
-------	--	--	--	--

研究計画書

文学研究科

博士(前期課程・後期課程)

※いずれかに○印

フリガナ

氏 名

希望するコース

研究テーマ

- (注) 1. 研究計画書の表紙(所定用紙④)以外は原則としてパソコン(横書き 40字×50行=2,000字程度)で作成してください。
2. 手書きの場合は、原稿用紙(A4判)を使用してください。
3. 研究計画書は、この表紙を上にして、左上をホチキスでとめてください。

入試コード				
-------	--	--	--	--

國學院大學大学院 法学研究科法律学専攻
一般入試・外国人入試・学内成績選考入試・社会人入試

研究計画書 表紙

フリガナ 氏 名			
志望する課程・コース*1	博士前期課程	研究コース	
		公務員養成コース	
	博士後期課程		
専攻科目			
指導を希望する教員名*2			
研究テーマ			

- * 1 希望する課程・コースに○をつけてください。
- * 2 指導を希望する教員がいる場合には記入してください。

1. 博士前期課程研究コースを志望する者は、研究内容、問題の所在、研究計画、先行研究の概要などを2,000字程度で具体的に記述すること。
2. 博士前期課程公務員養成コースを志望する者は、研究内容、問題の所在、研究計画などを1,000字程度で記述すること。
3. 博士後期課程を志望する者は、研究内容、問題の所在、研究計画、先行研究の概要などを8,000字程度で具体的に記述すること。
4. 研究計画書はパソコン（A4 横書き）で作成し、この表紙と共に提出すること。

入試コード				
-------	--	--	--	--

研究計画書

経済学研究科 経済学専攻

博士前期課程・博士後期課程

※いずれかに○印

フリガナ

氏名

希望する研究分野

希望指導教員

研究テーマ

- (注) 1. 研究計画書の表紙(所定用紙⑥)以外は原則としてパソコン(横書き 40字×50行=2,000字程度)で作成してください。
2. 手書きの場合は、原稿用紙(A4判)を使用してください。
3. 研究計画書は、この表紙を上にして、左上をホチキスでとめてください。

[学内成績選考・学内推薦入学・学外成績選考]

志望理由および自己推薦書

(志望理由：続き)

自己推薦書

入試コード				
-------	--	--	--	--

國學院大學大学院 一般入学・外国人入学試験

修士論文要旨

文学研究科

博士後期課程

フリガナ

氏名

希望する研究分野

修士論文題目

- (注) 1. 修士論文要旨は、表紙（所定用紙⑧）以外は原則としてパソコン（横書き 40字×50行＝2,000字程度）で作成してください。
2. 手書きの場合は、原稿用紙（A4判）を使用してください。
3. 修士論文要旨は、表紙を上にして、左上をホチキスでとめてください。

[社会人入試用 文学研究科・経済学研究科博士後期課程]

研究業績書

研究科	専攻	コース	
入試コード	受験番号	氏名	評価
	※		

単共著・論文・ 研究報告書等の題目 (主要5点以内)	研究業績概要	発行機関 発行所 発表会場	発表 年月日

研究業績書

単共著・論文・ 研究報告書等の題目 (主要5点以内)	研究業績概要	発行機関 発行所 発表会場	発表 年月日

日本語で記入すること

Please write in Japanese

國學院大學大学院 入学試験
外国籍調査書（兼 入学資格審査調査書）

I. 志願者 Applicant

パスポート氏名 In Passport Characters	姓 Family Name / 名 Given Name	性別 Sex	男 Male / 女 Female
		国籍/地域 Nationality	
漢字氏名		配偶者の有無 Marital Status	未婚 / 既婚 Single / Married
カナ氏名		生年月日 Date of Birth	年齢 Age
メールアドレス Email		携帯番号 mobile phone	
在留資格 Present Status of Residence		在留期限 Expiration Date	
現住所 Address in Japan			
本国の住所 Address in the Home County			
留学費用の出拠 Sources of the Fund for Tuition and Life in Japan			

II. 志望する課程・研究科・専攻 (School・Major Field・Course)

1. 課程 (Course)	博士課程前期（修士課程） / 博士課程後期（博士課程） Doctoral Program, Preliminary Course (M.A.) / Doctoral Program, Candidate Course (Ph. D)
2. 研究科・専攻・コース (School・Major Field・Course)	
◆文学研究科 Graduate School of Letters	
①神道学・宗教学専攻 Shinto Studies and Religious Studies Major	
②文学専攻：日本文学 / 日本語学 / 中国文学 / 伝承文学 / 高度国語・日本語教育 Literature Major Japanese Literature / Japanese Language / Chinese Literature / Folklore Studies / Japanese as a Second Language	
③史学専攻：日本史学 / 外国史学 / 考古学 / 美学・美術史 / 博物館学 History Major: Japanese History / World History / Archaeology / Aesthetics and Art History / Museology	
◆法学研究科 Graduate School of Law	④法律学専攻 Law Major
◆経済学研究科 Graduate School of Economics	⑤経済学専攻 Economics Major
3. 大学院における主な研究課題 Main Topic/Focus of Your Study and Research	
.....	
.....	
.....	
4. 入学後指導を希望する教員名 Proposed Advisory Faculty Member	

日本語で記入すること

Please write in Japanese

Ⅲ. 学歴 Educational Background

注：通学したすべての学校（小学校、日本語学校等を含む）を年代順に記入すること。

Note: List all the schools you attended in chronological order, from the old ones to new ones

学 校 名 Name of school	学部・学科 Department t/Major	所在地（国・市） Location (Country, City)	在学期間 Period of Attendance		修業年限 Number of Years Attended	学位 Degree or Diploma
			from	to		

Ⅳ. 職歴 Working Experiences

注：長期アルバイト（6ヶ月以上）、兵役は記入すること。

Note: Part time jobs for more than six months and military service should be included in the list.

勤 務 先 名 Name of Employer	職名 Title	所在地（国・市） Location	在職期間 Period of Employment
			～
			～
			～
			～
			～

V. 語学力 Language (語学力の該当欄に○をして下さい Write a Circle in the Appropriate Box)

・母語 First Language	・日本語の能力				・英語の能力			
	Proficiency of Japanese Language				Proficiencies of English Language			
() 語	優 Excellent	良 Good	可 Fair	不可 Poor	優 Excellent	良 Good	可 Fair	不可 Poor
読解力 Reading								
会話力 Speaking								
筆記力 Writing								
理解力 Comprehension								